

付議案第 48 号

教科用図書について

上記の付議案を提出する。

令和 5 年 7 月 24 日

福岡市教育委員会

教育長 石橋 正信

理由

本件は、小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部において令和 6 年度に使用する教科用図書を採択する必要があるので、福岡市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 8 号の規定により付議するものである。

教科用図書について

令和 6 年度使用小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部用教科用図書の採択を行うもの。

1 小学校用教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

福岡市教科用図書調査研究委員会の調査研究報告書、校長意見及び市民意見等を踏まえ、教育委員会において選定し採択する。

2 中学校教科用図書

(1) 全教科の教科用図書について

令和5年度と同一の教科用図書を採択する。

		発行者名	書名	使用学年
国語	国語	株式会社 三省堂	現代の国語 1、2、3	1～3年
	書写	光村図書出版 株式会社	中学書写一・二・三年	1～3年
社会	地理	株式会社 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1～2年
	歴史	東京書籍 株式会社	新しい社会 歴史	1～3年
	公民	東京書籍 株式会社	新しい社会 公民	3年
	地図	株式会社 帝国書院	中学校社会科地図	1～3年
数学		株式会社 新興出版社 啓林館	未来へひろがる数学 1、2、3	1～3年
理科		大日本図書 株式会社	理科の世界 1、2、3	1～3年
音楽	一般	株式会社 教育芸術社	中学生の音楽 1、2・3年上、2・3年下	1～3年
	器楽合奏	株式会社 教育芸術社	中学生の器楽	1～3年
美術		日本文教出版 株式会社	美術 1、美術 2・3上、美術 2・3下	1～3年
保健体育		株式会社 学研教育みらい	中学保健体育	1～3年
技術・家庭	技術	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	1～3年
	家庭	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	1～3年
英語		光村図書出版 株式会社	Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3	1～3年
道徳		光村図書出版 株式会社	中学道徳 1、2、3 きみがいちばんひかるとき	1～3年

3 小学校・中学校特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部教科用図書

(1) 文部科学省検定済教科用図書

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については小学校用、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同一のものを採択する。

(2) 文部科学省著作教科用図書

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和6年度使用）に掲載の図書を採択する。

① 特別支援学校小学部知的障がい者用

種目	発行者	番号	図書名
国語	東京書籍	国語C-121	こくご ☆
		国語C-122	こくご ☆☆
		国語C-123	こくご ☆☆☆
算数	教育出版	算数C-121	さんすう ☆
		算数C-122	さんすう ☆☆ (1)
		算数C-123	さんすう ☆☆ (2)
		算数C-124	さんすう ☆☆☆
生活	東京書籍	生活C-121	せいかつ ☆
		生活C-122	せいかつ ☆☆
		生活C-123	せいかつ ☆☆☆
音楽	東京書籍	算数C-122	おんがく ☆
		算数C-123	おんがく ☆☆
		音楽C-123	おんがく ☆☆☆

② 特別支援学校中学部知的障がい者用

種目	発行者	番号	図書名
国語	東京書籍	国語C-711	国語 ☆☆☆☆
数学	教育出版	数学C-711	数学 ☆☆☆☆
音楽	東京書籍	音楽C-711	音楽 ☆☆☆☆

③ 小学校・中学校特別支援学級については、特別支援学校小学部知的障がい者用及び特別支援学校中学部知的障がい者用として採択するものと同一のものを採択する。

小学校、中学校、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部
「令和 6 年度使用教科用図書について」
(文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書)

資料

資料 1 教科用図書採択方針及び採択の仕組み

資料 2 福岡市教科用図書調査研究委員会

小学校全教科調査研究報告書

資料 3 学校長の意見（小学校全教科）



資料 4 市民の意見



※資料 3、4については、会議後に、二次元バーコードから閲覧できます。

尚、データへのアクセスは8月 31 日(木)17:00までとなります。

資料 I

令和6年度使用教科用図書採択方針

(小学校、特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級)

福岡市教育委員会

I 基本方針

- 1 採択は、関係法令、文部科学省の作成する学習指導要領等を踏まえて、公正かつ適正に行う。
- 2 本市の児童生徒の実態に即し、かつ、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた指導に際して適切であるものを採択する。
- 3 「第2次福岡市教育振興基本計画」の趣旨に即したものを探択する。
- 4 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、人権教育の実践に適したものを探択する。

II 小学校教科用図書採択について

1 採択にあたっての考え方

教科用図書は、「教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材」として、学校において使用されるものである。また、学校の教育課程の基準は学習指導要領の規定により編成・実施される。については、教科用図書の採択に当たっては、小学校学習指導要領（平成29年文部科学省告示第63号）の総則に示す「小学校教育の基本と教育課程の役割」を踏まえ、福岡市の児童にとってより有益で適切な教科用図書を選定することとする。

- (1) 教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、児童の人間として調和のとれた育成を目指し、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。
- (2) 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次に掲げる3つの事項の実現を図り、児童に生きる力を育むことを目指すものとする。
 - ア これからの急激に変化する時代の中で、持続可能な社会の創り手となることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、GIGAスクール構想で配備した1人1台端末を活用しながら主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。
 - イ 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

学校における道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

ウ 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、各教科等のそれぞれの特質に応じて適切に行ったり、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われたりするよう配慮すること。

2 各教科共通の選定の観点

(1) 内容の範囲及び程度

ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。

イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。

ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。

(2) 内容に関する配慮事項

ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。

イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。

ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。

エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。

オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。

カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりするがないように配慮されていること。

(3) 分量

ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。

イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。

ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。

(4) 使用上の便宜

ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。

イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。

ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。

(5) 印刷、製本等

ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。

3 教科ごとの選定の観点

選定にあたっての基本的な観点は以下に示すとおりとする。

なお、文中の〔 〕で示した語句は、学習指導要領で使用されている項目である。

<国語（〔書写〕を除く。）>

- 1 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。
- 2 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。
- 3 日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。
- 4 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっていること。
- 5 [知識及び技能]に関する事項については、[思考力、判断力、表現力等]に関する事項の指導を通して指導することを基本とし、必要に応じて、特定の事項だけを取り上げて指導したり、それらをまとめて指導したりできる内容になっていること。
日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるような内容になっていること。
また、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しむことができる内容になっていること。
- 6 [A 話すこと・聞くこと]については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもったりできるように意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。
- 7 [B 書くこと]については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるよう意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。
- 8 「読書」及び[C 読むこと]については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。
[C 読むこと]の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っていること。
また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げていること。
- 9 教材については、教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。

<国語(〔書写〕)>

- 1 文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっていること。
- 2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。
- 3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。

<社会(〔地図〕を除く。)>

(共通)

- 1 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究できる内容になっていること。
- 2 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化などを通して社会生活について理解できる内容になっていること。
- 3 様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる内容になっていること。
- 4 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現できる内容になっていること。
- 5 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。
- 6 地域社会(郷土福岡)に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっていること。
- 7 アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっていること。
- 8 自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等がわかる内容になっていること。
- 9 少子高齢化等による地域社会の変化や情報化に伴う生活や産業の変化がわかる内容になっていること。
- 10 各学年において、地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっていること。

(第3学年)

身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の移り変わりを理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第4学年)

都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守る諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きが理解できる内容になっていること。また、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第5学年)

我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解できる内容になっていること。また、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うことができる内容になっていること。

(第6学年)

我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役

割について理解できる内容になっていること。また、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる内容に成っていること。

<社会(【地図】)>

- 1 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味や働きなどについて考え、調べたことや考えたことを表現することができる内容になっていること。
- 2 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国的位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。
- 3 県の特色や国土の地理的環境の特色や産業の関わり、国民生活との関連を考えることができる内容になっていること。
- 4 方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になっていること。
- 5 近隣の諸国の正式な国名が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それらを尊重する態度を養う内容になっていること。
- 6 児童が興味・関心をもって、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べができる内容になっていること。
- 7 資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっていること。

<算数>

- 1 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や図形に着目して問題を発見し解決するとともに、解決過程を振り返ることで、結果の意味を考察したり、概念を形成したりする内容になっていること。
- 2 [A 数と計算]、[B 図形]、[C 測定]、[C 変化と関係] 及び [D データの活用] の 5 領域間の指導の関連を図ることができる内容になっていること。その際、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。
- 3 [A 数と計算] の領域では、次の 3 点が重視された内容になっていること。
 - (1) 整数、小数及び分数の概念を形成し、その性質について理解するとともに、数についての感覚を豊かにし、それらの数の計算の意味について理解し、計算に習熟すること
 - (2) 数の表し方の仕組みや数量の関係に着目し、計算の仕方を既習の内容を基に考えたり、統合的・発展的に考えたりすることや、数量の関係を言葉、数、式、図などを用いて簡潔に、明瞭に、又は、一般的に表現したり、それらの表現を関連付けて意味を捉えたり、式の意味を読み取ったりすること
 - (3) 数や式を用いた数理的な処理のよさに気付き、数や計算を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 4 [B 図形] の領域では、次の 3 点が重視された内容になっていること。
 - (1) 基本的な図形や空間の概念について理解し、図形についての豊かな感覚の育成を図るとともに、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたりすること
 - (2) 図形を構成する要素とその関係、図形間の関係に着目して、図形の性質、図形の構成の仕方、図形の計量について考察すること、図形の学習を通して、筋道立てた考察の仕方を知り、筋道立てて説明すること
 - (3) 図形の機能的な特徴のよさや図形の美しさに気付き、図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 5 [C 測定] の領域では、次の 3 点が重視された内容になっていること。
 - (1) 身の回りの量について、その概念及び測定の原理と方法を理解するとともに、量についての感覚を豊かにし、量を実際に測定すること
 - (2) 身の回りの事象の特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現すること
 - (3) 測定の方法や結果を振り返って数理的な処理のよさに気付き、量とその測定を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること
- 6 [C 変化と関係] の領域では、次の 3 点が重視された内容になっていること。
 - (1) 伴って変わる二つの数量の関係について理解し、変化や対応の様子を表や式、グラフに表したり読んだりするとともに、二つの数量の関係を比べる場合について割合や比の意味や表し方を理解し、これらを求めたりすること
 - (2) 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察するとともに、二つの数量の関係に着目し、図や式などを用いてある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係の比べ方を考察し、日常生活に生かすこと
 - (3) 考察の方法や結果を振り返って、よりよい解決に向けて工夫・改善をするとともに、数理的な処理のよさに気付き、数量の関係の特徴を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること

7 [D データの活用] の領域では、次の 3 点が重視された内容になっていること。

- (1) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、適切なグラフに表したり、代表値などを求めたりするとともに、統計的な問題解決の方法について知ること
- (2) データのもつ特徴や傾向を把握し、問題に対して自分なりの結論を出したり、その結論の妥当性について批判的に考察したりすること
- (3) 統計的な問題解決のよさに気付き、データやその分析結果を生活や学・習に活用しようとする態度を身に付けること

8 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現したり伝え合ったり、学び合ったり、高め合ったりするなど、「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点をふまえた学習活動を積極的に取り入れることができる内容になっていること。

9 数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用することができる内容になっていること。

10 具体物を操作したり、日常の事象を観察したり、児童にとって身近な算数の問題を解決したりするなどの具体的な体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感できる内容になっていること。

11 [用語・記号] が各学年の内容と密接に関連させられており、それらを用いて表したり考えたりすることのよさが分かる内容になっていること。

12 数量や図形についての豊かな感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な処理の仕方を考えだしたりできる内容になっていること。

13 筆算による計算の技能を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果の見積もりをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっていること。

<理科>

- 1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。
- 2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。
- 4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。
- 5 [A 物質・エネルギー]については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)~(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようする。
 - (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。
 - (3) 主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 6 [B 地球・生命]については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)~(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。
 - (1) 「生命」、「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようする。
 - (2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力(第6学年)を養う。
 - (3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 7 第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。
- 8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるといった体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。
- 9 生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることができるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。また、天気、川、土地等の指導では、災害に関する基礎的な理解を図ることが

できる内容になっていること。さらに、人や環境と関わりながら学習できる内容になっていること。

10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができる内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。

<生活>

- 1 身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動を取り入れた内容になっていること。
- 2 動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行うような内容になっていること。
- 3 地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。
- 4 身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かなものとしたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。
- 5 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるよう、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。
- 6 具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。
- 7 生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。

<音楽>

- 1 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わることができる内容になっていること。
- 2 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 3 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見出したりできるような内容になっていること。
- 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。
- 5 【共通事項】を要として各領域や分野の関連を図り、年間を通じて継続的に指導することができる内容になっていること。
- 6 歌唱・器楽については、歌唱表現及び器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌う(演奏する)かについて思いや意図をもったり、曲想と音楽の構造や歌詞の内容、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解したり、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる内容になっていること。
- 7 歌唱については、我が国や郷土福岡の音楽に愛着がもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認められるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて選択することができる内容になっていること。
- 8 中学年の器楽については、主旋律の演奏から和音を用いた演奏や低声部の充実にまで幅広く活用することができる鍵盤楽器や、箏など、無理なく取り組むことができ、我が国の音楽のよさを感じ取れる和楽器の中から、児童や学校の実態に応じて選択できる内容になっていること。また、高学年の器楽については、合奏において各声部の役割を生かした演奏ができるよう、楽器の特性を生かして合奏で扱う楽器を選択することができる内容になっていること。
- 9 音楽づくりについては、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる内容になっていること。また、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴が生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解することができる内容になっていること。さらに、発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現したり、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくったりする技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 10 鑑賞については、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したりすることができる内容になっていること。

<図画工作>

- 1 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる内容になっていること。
- 2 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる内容になっていること。
- 3 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようになる内容になっていること。
- 4 つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。
- 5 表現及び鑑賞の活動において、共通に必要となる資質・能力を示している〔共通事項〕の指導を行うことができる内容になっていること。
- 6 [A表現] の「発想や構想」と「技能」に関する事項を関連付けて扱うことができる内容になっていること。
- 7 工作に表すことの内容に配当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に配当する授業時数とおよそ等しくなる内容になっていること。
- 8 各学年の[A表現] 及び[B鑑賞] の指導を通して、児童が〔共通事項〕ア「自分の感覚や行為を通して形や色などを理解すること」とイの「自分のイメージをもつこと」との関わりに気付くことができる内容になっていること。
- 9 児童が個性を生かして活動できるようにするために、表現や鑑賞を幅広く捉え、児童が経験したことに基づいて、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができる内容になっていること。
- 10 〔共通事項〕の「知識」に関する指導に当たっては、次のア～ウの事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げる内容になっていること。
ア 第1学年及び第2学年においては、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。
イ 第3学年及び第4学年においては、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。
ウ 第5学年及び第6学年においては、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。
- 11 材料や用具については、必要に応じて、当該学年より前の学年において初步的な形で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げたりすることができる内容になっていること。
- 12 思考力、判断力、表現力等を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点として、感じたことや思ったこと、考えしたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点をふまえた言語活動が充実した内容になっていること。
- 13 事故防止のために、造形活動で使用する材料や用具、活動場所については、安全な扱い方について指導する、事前に点検するなどに配慮した内容になっていること。

<家庭>

- 1 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う内容になっていること。
- 2 他教科等との関連を明確にし、中学校の学習を見据え、系統的に指導ができる内容となっていること。
- 3 実際の生活で生かす場面を設定し、自分の生活が家庭や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びに気付いたりすることができる主体的な学習活動を充実させる内容となっていること。
- 4 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々などの会話を通して考えを明確にしたりする対話的な学習活動を充実させる内容となっていること。
- 5 児童が日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、更に家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして資質・能力を身につける内容となっていること。
- 6 [A 家族・家庭生活] の「自分の成長と家族・家庭生活」については、ガイダンスにおいて、生活の営みに係る見方・考え方方に触れ、[A 家族・家庭生活] [B 衣食住の生活] [C 消費生活・環境] の学習と関連させて扱う内容になっていること。
- 7 [B 衣食住の生活] の「調理の基礎」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2 学年にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できる内容になっていること。
- 8 [C 消費生活・環境] については、[A 家族・家庭生活] の(3)「家族や地域の人々との関わり」や、[B 衣食住の生活] の(2)「調理の基礎」、(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」及び(6)「快適な住まい方」などと関連を図り、生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え、実践的に学習できる内容になっていること。
- 9 実習については、事故の防止及び安全・衛生に留意する内容になっていること。
- 10 家庭や地域との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用することができる内容になっていること。

<体育(保健領域)>

- 1 保健の見方・考え方を働きかせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一體として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。
- 2 身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。
- 3 「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。
- 4 健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。
- 5 運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容になっていること。
- 6 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっていること。

<外国語(英語)>

- 1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。
- 2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。
- 3 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。
- 4 聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。
- 5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。
- 6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。
 - ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるに役立つこと。
 - イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。
 - ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かうことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うことに役立つこと。

<道徳科>

- 1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考え方を深めることができる内容になっていること。
- 2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」（あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志）を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。
- 3 学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考え方を振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。
- 4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。
- 5 道徳的価値について自己を見つめ、これから生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。
- 6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考え方を深めができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。
- 7 情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方へ偏った指導を行うことのない内容になっていること。
- 8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。

III 特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級教科用図書採択について

1 文部科学省検定済教科用図書について

特別支援学校小学部及び小学校特別支援学級については、小学校用として採択するものと同一ものを、特別支援学校中学部及び中学校特別支援学級については中学校用として採択するものと同一のものを採択する。

2 文部科学省著作教科用図書について

文部科学省発行の特別支援学校用教科書目録（令和6年度使用）に掲載の図書を採択する。

3 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書について

(1) 採択の基本的な考え方

特別支援学校小学部・中学部及び小学校・中学校特別支援学級で使用する学校教育法附則9条に規定する教科用図書（以下「一般図書」という。）の採択については、下学年用の文部科学省検定済教科書（以下「検定済教科書」という。）又は文部科学省著作教科書（以下「著作教科書」という。）の採択を考慮した上で実施すること。

(2) 一般図書の採択について

一般図書の採択にあたっては、検定済教科書又は著作教科書に代わるものとして採択するものであることから、教科の主たる教材として教育目標の達成上、適切な図書を採択すること。

下学年用の検定済教科書又は著作教科書の採択を十分考慮した上で、次の場合は一般図書を採択するものとする。

ア 特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書がない場合

（学校教育施行規則第135条第2項（第89条を準用））

イ 重複障がいを有する児童生徒への教育又は訪問による教育を行うに当たり特別の教育課程を編成する特別支援学校小学部・中学部において、検定済教科書又は著作教科書を使用することが適当でない場合（同規則第131条第2項）

ウ 特別の教育課程を編成する小学校・中学校特別支援学級において、検定済教科書を使用することが適当でない場合（同規則第139条）

(3) 採択にあたっての留意事項

ア 児童生徒の障がいの種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容（文字、表現、さし絵、取り扱う題材等）のものであること。

イ 「個別の指導計画」に基づく指導及び評価等に資することができるものであること。

ウ 内容が精選され、可能な限り体系的に編集されたものであり、基礎的な事柄が適切に習得されるように配慮されていること。

エ 各教科等相互の関連が図られるとともに、具体的な内容が取り上げられるように配慮されているものであること。

オ 可能な限り学習の見通しを立てたり、学習したこと振り返ったりする活動が行えるよう配慮されているものであること。

カ 進路指導等との関連が図られ、将来の社会的自立を図るために必要な事項が適切に習得されるよう配慮されているものであること。

- キ 特定の題材又は一部の分野のみ取り扱っている図書、参考書的図鑑類、問題集等は適切でないこと。
- ク 上学年で使用することとなる教科用図書との関連性を考慮するとともに、採択する図書の間の系統性にも配慮すること。
- ケ 情報端末機器、ビデオテープ、CD、ジグソーパズル型などは適切でないこと。
- コ 全体の分量は、児童生徒の障がいの種類・程度及び授業時数からみて適切であること。
- サ 分冊本は採択しないこと、また、高額なものに偏らないこと。
- シ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、製本の様式、材料などが児童生徒の障がいの種類・程度からみて適切であること。
- ス 人権感覚に配慮した教材であること。

教科用図書採択について

(福岡市立小・中学校、福岡市立特別支援学校小・中学校部、福岡市立小・中学校特別支援学校)

採択権者 福岡市教育委員会 教育委員会会議において審議し採択

諮詢
(調査指示)

答申
(報告)

福岡市教科用図書調査研究委員会

総数 30名以内

6回程度の委員会開催

* PTA 6

* 学識経験者 5

* 校長会会長[小・中・特・高] 4

* 指導主事 (基礎資料の説明) 14

* 行政職 (手続きの適正性を判断) 1

第三者的立場の委員の増加

業務

研究会が作成した基礎資料を基に協議し,
その結果を教育委員会に報告する。

市民・学校長の意見

研究会

(指導主事をリーダーに各教科ごと数人の教員で構成)

全ての教科書の基礎資料作成

教科書会社と関わりのあった教職員の排除

業務

全ての教科書を調査研究し、教科用図書調査
研究委員会で協議する基礎資料を作成する。



資料 2

令和 5 年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

国語
小学校

調査研究の視点と主な審議内容（国語）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点	主な審議内容
ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行なうことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されること。	<p>○【東京書籍】○【教育出版】◎【光村図書】研究会の評価どおり</p> <p>各社とも「見通しをもと」「振り返ろう」という細かいステップが5つくらいに分かれていること分かる。</p> <p>「見通しをもつ」段階で「問い合わせ」を重視しているから主体的な学びが期待できると評価しているが、「主体的・対話的で深い学び」ができることと「見通しをもつ」ことの関係はどのようにになっているのか。</p> <p>文章を解釈する際に、見通し段階で安易に「問い合わせ」を立てると「全体」をとらえようとすると實際に誤ったイメージをもたせることになるのではないか。</p> <p>→ 国語科では、全体（文章の構造）と部分（精査・解釈）を往還しながら、学習を進めていくことを大切にする。全体を見通す段階で「問い合わせ」を工夫することにより、子ども達の学びたいという意欲が高まり、主体的な学びにつながるものと考える。</p>

2 内容に関する配慮事項

観点	主な審議内容	観点	主な審議内容	観点	主な審議内容
力	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となつたりすることがないように配慮されていること。	イ	発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	イ	【東京書籍】○【教育出版】【光村図書】→ ○ 児童の負担にならないよう配慮されている。 「一」という評価は妥当なのか。 発展的な学習は取り上げられていないのか。
	4 使用上の便宜				

211C2) 観の構造□

すべての観点において研究会の評価ほどおり

□各教科共通の観点（国語） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
内 容 の 範 囲	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	言葉による思考方・考え方を動かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
1 项 目	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	内容の程度は、学年の児童の発達段階に適応している。	○	○
2 项 目	ア 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○	○
3 项 目	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的な指導ができるように配慮されている。	○	○
4 项 目	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮され、具体的な言語活動が示されている。	○	○
5 项 目	ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクター」の推進のために、多様な体験的な学習や基礎的・本質的な知識及び技術を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」で示す「自學・とも学・もじりが促されるよう配慮されている。児童の興味・関心を生かし、主題的・お題的で深い、主題的・お題的で深い、主題的・お題的で深い」という観点が示されている。	問題解決的な学習が重視され、主題的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。3つのステップで言葉の力を身に付ける仕組みが取り入れられている。児童の力が最後に明示され、児童の学びの積み重ねが確認できるようになっている。特に「やり組む」ステップの例が具体的に示されているため、自学も期待できると考えられる。	○	○
6 项 目	ア 「第2次福岡市教育振興計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりできること、多様性への配慮がされていること。	多様性への配慮がされている。交流場面で、考え方の違いや互いのよさを交流できるよう場面が設定されている。文章が日本だけでなく海外のものがあり、エニペークアルデザインや共生社会について触れたものを探っている。	○	○
7 项 目	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
8 项 目	ア 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」といいます）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となることがありますがないように配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	—	○
9 项 目	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
10 项 目	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
11 项 目	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	「A話すこと」「B書くこと」「C読むこと」の3領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
12 项 目	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。挿絵の不足を感じるページもある。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。挿絵の不足を感じるページもある。	○	○
13 项 目	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容が明示されいること。	発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。	—	○
14 项 目	ア 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置され、「資料室」のページが目次につながる。	○	○
15 项 目	ウ ニューパーソナルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや字体などは適切である。	○	○

□国語の観点 教科書会社名（東京書籍）

所見	研究会 調査研究委員会
1 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	○ ○
2 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。	◎ ◎
3 日常生活における人と人の関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になつていていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	○ ○
4 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になつてていること。	○ ○
5 「知識及び技能」に関する事項について、「思考力、判断力、表現力等」に関する事項の指導を通して指導したり導くことを基本とし、必要に応じて、特定の事項だけを取り上げて指導したり、それらをまとめて指導したりできる内容になつていることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できる日常の言語活動を取り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする内容になつて、また、我が国の言語文化に関する事項については、各学年で行い、古典に親しみたことができる内容になつていること。	○ ○
6 「A 話すこと・聞くこと」については、学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるようになつていること。	○ ○
7 「B 書くこと」については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるように意図的・計画的に指導することができる内容になつていていること。	○ ○
8 「C 読むこと」については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になつていて、「C 読むこと」の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を順次的に取り扱っている。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げていること。	○ ○
9 教材については、教科及び各学年の目標、[知識及び技能]及び[思考力、判断力、表現力等]に示す資質的能力を働きかせ、語彙や読み手に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な語彙や題材を精選して題材を構成すること。	○ ○

□各教科共通の観点 (国語) 教科書会社名 (教育出版)

教科書会社名（教育出版）

□国語の観点 教科書会社名（教育出版）

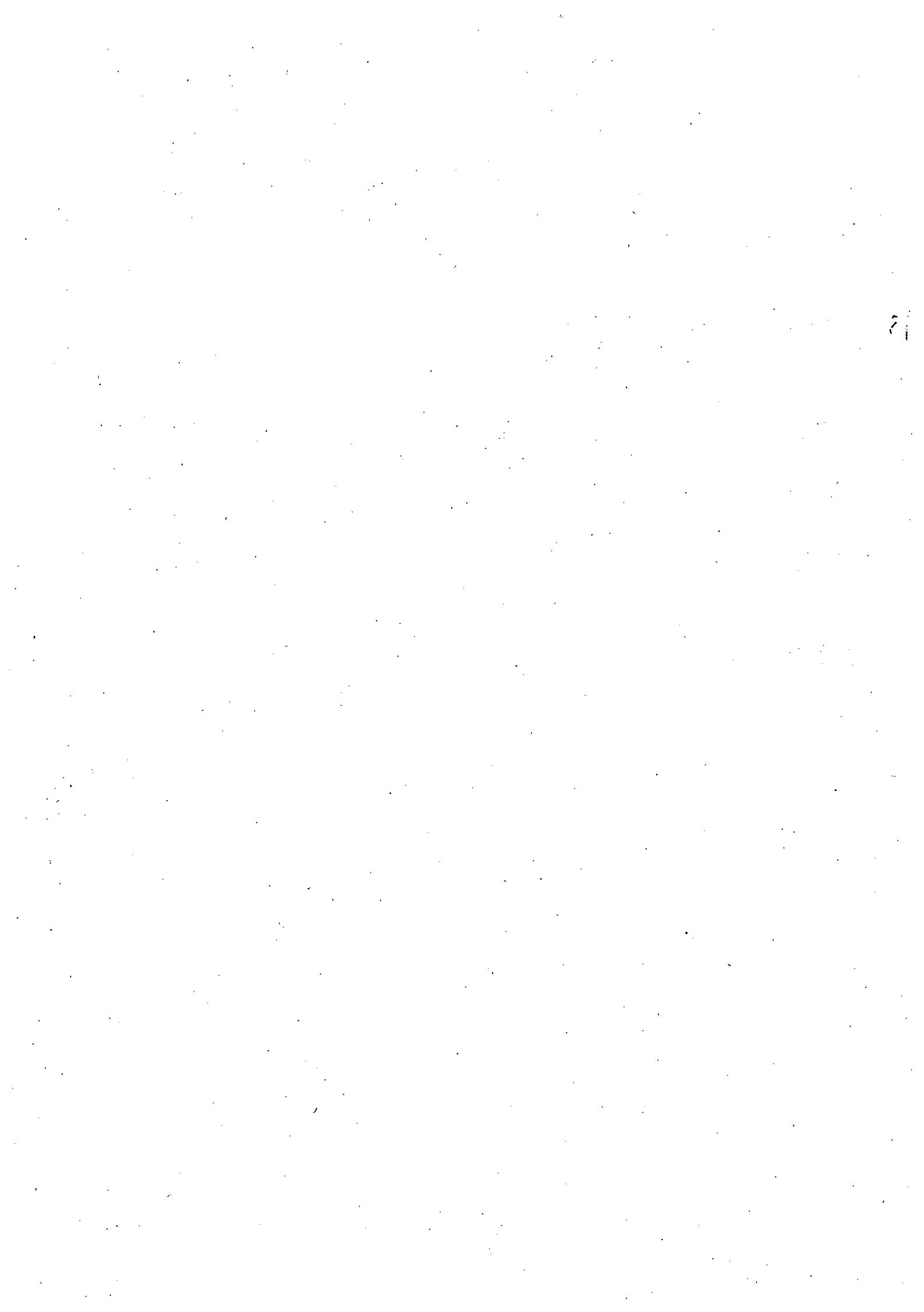
国語の観点		研究会 調査研究委員会
	見	研究会 調査研究委員会
1 言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっている。	○ ○
2 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容にならざるが、実際の日常生活を想起させるような教材が構成されており、学習と生活のつながりを意識できる。	○ ○
3 日常生活における人と人の関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっている。	自分で自分の考えをもち、友達と交流しながら、課題解決できる内容になっている。「どのように伝え合い、話をつなげることで考え方などをできるのかが、どうやってすればいいか、交流場面における子どもが示されている。自己・とも学」をする際の活用につながる学習の進め方」の記載はあるが、簡単な内容であるため、児童が自ら活用し、学習を進めることが難しい場合もある。	○ ○
4 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図ること。	言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容になっている。季節に関する言葉の記載が少ない。	○ ○
5 「知識及び技能」に関する事項については、「思考力、判断力、表現力等」に関する事項の指導を通して指導することを基本として、必要に応じて、特定の事項だけを取り上げて指導したり、それらをまとめて指導したりできる内容になっていること。	日常の言語活動を取り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識するなどをして、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識できることになっている。また、古典に親しみながら、語彙を系統的に増やしていく工夫がある。	○ ○
6 「A 話すこと」については、学習したことなどを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるようになっていていること。	学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使いこなす機会を多くもつたりできるようになっていている。話す単元、聞く単元が個別に設定されており、スマートステップで学習を進めることによってできる内容になっていること。	○ ○
7 「B 聞くこと」については、実際に文章に書く活動を多く設定することができるよう意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。	実際に文章に書く活動を多く設定することができるよう意図的・計画的に指導する。相手意識や目的意識をもつて学ぶことが期待できる。	○ ○
8 「C 読むこと」については、読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっていること。	読書意欲を高め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動につながる内容になっている。説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱っており、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げている。	○ ○
9 教材については、教科及び各学年の目標、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に示す資質・能力を編りなす見方や読み方を基準として読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げていること。	児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げている。各学年とも巻末付録本を読みうがちがあり、ジャンルごとに本の紹介がされている。低学年において、読書指導の位置づけがはっきりとしている。	○ ○

□各教科共通の観点（国語） 教科書会社名（光村図書）

	各教科共通の観点	所見	研究会 調査研究委員会	
1 四段階	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げること。	冒頭による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する内容になっている。 内容の程度は、学年の児童の発達段階に適応している。	○ ○ ○ ○	
2 2 種	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○ ○ ○	
3 事項	ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示された「誰がかな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクター教育の推進」のために、「多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技術を活用した問題解決的な学習が重視される」として、「福岡スタンダード」に位置づけられる「自學・どうも・学力を効果的に行うこと」が、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で柔軟・学びが促進されるよう配慮されていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	国語科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的な指導ができるよう配慮されている。 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。特に、単元名から言語活動がどうえやすく、学習過程が分かりやすくて示され、様々な言語活動を通して、言葉の力を身に付けることができる。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
4 事項	ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることでできるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示された「誰がかな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクター教育の推進」のために、「多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技術を活用した問題解決的な学習が重視されている」として、「福岡スタンダード」に位置づけられる「自學・どうも・学力を効果的に行うこと」が、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で柔軟・学びが促進されるよう配慮されている。 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
5 事項	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されを取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となつたりすることがないように配慮されていること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されを取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となつたりすることがないように配慮されていること。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
6 事項	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、使用の深まりに有効に働くように配置されていること。 オ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	IA話すこと・聞くこと、「B書くこと」、「C読むこと」の3領域の内容が偏りなく掲載されている。 学習が深まるよう、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。特に、「ひらがなでかんさんさで名人にどうう」では、どこに何を書けばよいか説明が簡潔にパンフレットに配置されているため、観察カードの書き方が理解しやすい。	○ ○ ○ ○ ○ ○
7 事項	ア 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関するあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。	○ ○ ○ ○ ○ ○	
8 事項	ア 文字の色合いや字体などは適切である。特に、書体が大きめで読みやすくて見やすい。文字の色合いや字体などは適切である。特に、書体が大きめで読みやすくて見やすい。	学習内容に関するあるデジタルコンテンツが適切に配置しており、使いやすさ。 印刷は鮮明であり、文字の色合いや字体などは適切である。特に、書体が大きめで読みやすくて見やすい。文字の色合いや字体などは適切である。特に、書体が大きめで読みやすくて見やすい。	○ ○ ○ ○ ○ ○	

□国語の観点 教科書会社名（光村図書。）

見	研究会	調査研究委員会
1 言葉による見方・考え方を動かさせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっていること。	言葉による見方・考え方を動かさせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる内容になっている。	○ ○
2 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっている。学んだ内容を確めた「たいせつ」や「学んだ」等学習内容を他の教科や日常生活で生かすことができるよう、ビントを提示する「いのちその」ページが設けられている。国語科における学習内容について理解し、適切な使用が可能になることからも価値がある。	日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっている。学んだ内容を確めた「たいせつ」や「学んだ」等学習内容を他の教科や日常生活で生かすことができるよう、ビントを提示する「いのちその」ページが設けられている。国語科における学習内容について理解し、適切な使用が可能になることからも価値がある。	○ ○
3 日常生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができる内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学」など学習の観点から、進んで友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語の大切さを向こうで認識する。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学」など学習の観点から、進んで友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	○ ○
4 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語の大切さを向こうで認識する。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学」など学習の観点から、進んで友達と交流しながら、課題解決できる内容になっていること。	言葉感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う内容についている。短歌や俳句、慣用句などを、見直すを改め、言葉が日常で感じることがができる。学生の発達段階に応じて、日本の四季に関する言葉が導入されており、活用やすい。	○ ○
5 日常の言語活動を通じて、特定の事項について、思考力、判断力、表現力等を競い上げて指導したりできる内容になっていること。また、児童が必ずまどで指導したりする事項に関する事項について、特定の事項だけを取り上げて、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識して、実際には、児童が必ずまどで指導したりする事項についていること。	[知識及び技能]に関する事項については、「思考力・判断力・表現力等」に対する評議会を多く開いており、「話し手」「聞く」「話し合う」の学習が「会話」の会話力や「話し合い」の技術を身につけて、児童が必ずまどで指導したりする事項について、特定の事項だけを取り上げて、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識して、実際には、児童が必ずまどで指導したりする事項についていること。	○ ○
6 (A)話すこと・聞くことについて:は、実験的に書く活動を多く設定することができるようにならうに意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。	(A)話すこと・聞くことについて:は、実験的に書く活動を多く設定することができるようにならうに意図的・計画的に指導することができる内容になっている。児童は、児童が必ずまどで指導したりする事項について、特定の事項だけを取り上げて、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識して、実際には、児童が必ずまどで指導したりする事項についていること。	○ ○
7 (B)書ことについて:は、実験的に書く活動を多く設定することができるようにならうに意図的・計画的に指導することができる内容になっていること。	(B)書ことについて:は、実験的に書く活動を多く設定することができるようにならうに意図的・計画的に指導することができる内容になっている。児童は、児童が必ずまどで指導したりする事項について、特定の事項だけを取り上げて、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識して、実際には、児童が必ずまどで指導したりする事項についていること。	○ ○
8 (C)読むことの)の教材については、説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を順序的に取扱っていること。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げていること。	「読書」及び「C読むこと」については、読書感想文を始め、学校図書館を活用するなど、日常生活における読書活動について、児童が必ずまどで指導したりする事項について、特定の事項だけを取り上げて、実際に話したり聞いたり読んだりする場面を意識して、実際には、児童が必ずまどで指導したりする事項についていること。	○ ○
9 形材については、教科及び各学年の目標、「知識及び技能」及び「思考力・判断力・表現力等」に示す資質・能力を編りこなして読みこなすことができるようになっていること。	形材については、教科及び各学年の目標、「知識及び技能」及び「思考力・判断力・表現力等」に示す資質・能力を編りこなして読みこなすことができるようになっていること。	○ ○



小学校 写書調査研究報告書（答申）

福岡市教科用図書調査研究委員会
令和5年度
調査研究報告書（答申）

□各教科共通の観点について

□名教科共通の観点について

4 使用上の便宜

観点 主な審議内容

- イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されること。

○【東京書籍】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更

「発展的な学習が取り上げられていない」と記述があるが、「〇」の評価になるのか。事務局の説明の通りであれば、「発展的な学習の内容は取り上げられているが『発展』として明示がされていない」という表記がよいと思われる。

4 使用上の便宜

観点 主な審議内容

- ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。

○【光村図書】→研究会の評価どおり

デジタルコンテンツの内容に、自学でも活用できる動画等はあるのか。
→ 学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。
必要な資料がそろっている。動画は実際のモデルを収録しており、使いやすい。

□教科の観点について
すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点（書写）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成する内容	○ ○	○ ○
の 範 囲	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年の発達段階を配慮した教材の配列となっている。	○ ○	○ ○
及び 説 明	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○
ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	系統的な指導ができるように配慮されている。	○ ○	○ ○	○ ○
イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。	○ ○	○ ○	○ ○
内 容	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「誰かなが学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤウ」が教育されているとともに、「多様な体験や基礎的な学習及び技術を活用した問題解決的な学習が重視されている」「高齢スタンダード」に位置づけている「自尊・主体的・対話的で深い学力を実現することができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「誰かなが学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤウ」が重視されたり、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが具現化されるよう配慮されている。	○ ○	○ ○
の 範 囲	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされている。	○ ○	○ ○
及び 説 明	オ 体验活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体验活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○	○ ○
事 項	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いには、児童の負担を考慮したり、児童の負担が過重となったりするリスクを取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担にならないよう配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	○ ○	○ ○
配 備	シ 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になつており適切である。	○ ○	○ ○
内 容	ス 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が適切に配分されている。	○ ○	○ ○
の 範 囲	タ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○ ○	○ ○
及び 説 明	チ 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、使い学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、本文、資料、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。	○ ○	○ ○
使 用	リ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は取り上げられているが、「発展的な学習」として明示されていない。	○ ○	○ ○
の 方 法	オ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツが適切に配置されている。鉛筆の持ち方の動画があり、右利き用のみ準備されて両方ある。本書を初めて学習するための紹介動画があり、指導やすい。	○ ○	○ ○
印 刷	カ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切であ	○ ○	○ ○
内 容	キ			

□ 書写の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

書写の観点	所見	研究会	調査研究委員会
1 文字を正しく整えて書くことができるどもに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になつてゐること。	文字を正しく整えて書くことができるどもに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になつていて。書写の学び方の最後に「生活に広げよう」を位置付け、「ノート」や「新聞」などへつなげようとする工夫が見られる。	○	○
2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができること。	硬筆を使用する書写の指導をすることができることになつていて。硬筆文字を整えて書くために、書くための体をつくる「書写体操」、複数の硬筆文字を示しながら眼鏡を見て見出させる工夫、硬筆文字を直接書き込んだりなぞり書きをしたりして理解を深めるための工夫がある。	◎	◎
3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になつていること。	硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になつていて。毛筆の学習を生かして、硬筆で書く「生かかそり」のコーナーが設定されており、学習の始めにためし書き」、終わるに「まとめ書き」を書くように意図されている。	○	○

□各教科共通の観点

(書き) 教科書会社名(教育出版)

各教科共通の観点

		所見	調査会 調査研究委員会
1. 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成する内容になっている。	○ ○
	イ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項をなく取り上げていること。	学年の発達段階を配慮した教材の配列となっている。	○ ○
2. 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が不足なく取り上げられている。	○ ○
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	系統的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
3. 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	ア 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」といふ)を取り上げている場合は、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となるないように配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	○ ○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じた分量になっており適切である。	○ ○
4. 上のいずれの場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	ア 本文、問題文、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	偏りなく掲載されている。	○ ○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示される。	発展的な学習内容について明示されている。特に、中学校1年生の学習につながるよう行書の内容が発展として取り上げられている。	◎ ◎
5. ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切であること。	ア デジタルコンテンツが適切に配置されている。左利きの児童用の準備の仕方動画がデジタルコンテンツの特長が石井の動画があるが、他のコントンツが少ない。	○ ○	
	イ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切である。	○ ○

□ 書写の観点 教科書会社名（教育出版）

書写の観点	所見	研究会	調査研究委員会
1 文字を正しく整えて書くことができるどもに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になつてること。	文字を正しく整えて書くことができるとどもに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になつていて。「レッツドライコーナー」を設け、発表資料、ノート、はがき、短歌、かるたなど豊富につないでいこうとする工夫が見られる。	○	○
2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になつてていること。	硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になつていて。低学年において、「はね」「はらい」を捉えることができるよう、線が細くなつていい様子を視覚的にとらえることができるような工夫がある。	○	○
3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になつていること。	硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になつていて。毛筆で学習したことを見かして硬筆で書く「生かそう」のコーナーが設定されており、学習の始めに「はじめ書き」、学習の終わりに「はじめ書き」を書くように意図されている。	○	○

□各教科共通の観点 (書き) 教科書会社名 (光村図書)

各教科共通の観点		所見	調査会	調査研究委員会	
内 容 の 領 域	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成する内容になっている。	○ ○	○ ○	
1 国 语 及 び 用 事 領 域	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年の発達段階を配慮した教材の配列などしている。特に、毛筆の学習のスタートページで、準備、実践、片付けの取り上げ方が分かりやすい。	◎ ◎	◎ ◎	
内 容 の 領 域	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の目標に準拠した学習内容が不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○	
内 容 の 領 域	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	系統的な指導ができるように配慮されている。	○ ○	○ ○	
内 容 の 領 域	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。	○ ○	○ ○	
内 容 の 領 域	内 フ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のため、多様な体験的な学習環境や技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「富岡スタンドード」に基づいている「知識及び技能を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問題解決的な学習が重視されており、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが具現化されるよう配慮されている。	○ ○	○ ○	
内 容 の 領 域	2 る 配 慮 事 項	ウ 「第2次福岡市人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされている。	1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	内 フ 事 項	エ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	内 フ 事 項	オ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「参考的な学習内容」という)を取り上げている場合は、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となるないように配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	3 分 量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になつており適切である。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	3 分 量	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が適切に配分されている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	4 上 の 便 利 性	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく掲載されている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	4 上 の 便 利 性	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、使用の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、本文、資料、挿絵、写真、図等が有効に配置されている。	○ ○	○ ○
内 容 の 領 域	4 上 の 便 利 性	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容について明示されである。特に、中学校1年生の学習につながるよう、行書の内容が発展として取り上げられている。	◎ ◎	◎ ◎
内 容 の 領 域	4 上 の 便 利 性	ウ 1人1台端末を活用し、効果的な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。タブレットを使用する場合や整理解説の動画、用紙の片付け方について動画がある。豊富な動画コンテンツがあり、指導や自學に活用しやすい。	デジタルコンテンツが適切に配置されている。タブレットの特長方の動画が有利き・左利き両方ある。タブレットを使用する場合や整理解説の動画、用紙の片付け方について動画がある。豊富な動画コンテンツがあり、指導や自學に活用しやすい。	◎ ◎	◎ ◎
内 容 の 領 域	5 質 量	エ ニューハーフデザイナの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切である。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式が適切である。	○ ○	○ ○

□ 書写の観点 教科書会社名（光村図書）

書写の観点	所見	研究会	調査研究委員会
1 文字を正しく整えて書くことができるとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる内容になっている。特に、6年生に「書写ブックコーナーを設け、1年生から6年生までの学びが日常生活・他教科・他領域に広がるよう工夫されている。	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
2 各学年で、硬筆を使用する書写の指導をすることができる内容になっていること。			
3 毛筆を使用する書写においては、硬筆による書写の能力の基礎を養う内容になっていること。	○ ○	○ ○	



小学校社会

調査研究報告書（答申）

令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究の視点と主な審議内容（社会）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

観点	主な審議内容
4 ヴ	<p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p> <p>△【東京書籍】→研究会の評価どおり</p> <p>デジタルコンテンツについて、東京書籍はワークシートが多いということだが、そのことの何が課題となるのか。 → ワークシートが多いと、子ども達がどれを活用したらよいのか分からなくなる可能性がある。また、ワークシートは、自分の考えをまとめる際に、同じような表現になることも考えられる。</p>

□教科の観点について

観点	主な審議内容
3	<p>様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることがができる内容になっていること。</p> <p>◎【教育出版】△【東京書籍】→研究会の評価どおり 子どもが使いやすいという観点は分かりやすい。子どもも目線で判断をしているのがよい。</p>

□各教科共通の観点（社会）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点

		研究会 調査研究委員会
		見 所
内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	資料についての気付きや疑問などについての会話文が多く、目標(2)「必要な情報を聞くべきまとめる技能」を身につけるには、記述がからの情報がやや少ないと述べている。 記述の内容や資料(写真、地図)の見やすさ等、当該学年の発達段階に応じたもの目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。 前学年の内容を振り返る記載があり、前学年との関連を図りながら、系統的・発展的指導ができる内容となっている。
内容の範囲及び程度	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう取り上げていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各单元の「まとめる段階」では言語活動が位置付けられており、さらに、「まとめる段階」の後の「いかず段階」においても言語活動を取り入れている単元がある。
内容の範囲及び程度	「つかむ→調べる→まとめ→かかす」の学習過程の中に、学習問題、調べること、調べの方、まとめ方等が位置付けられており、問題解決的な学習を組んでいる。「ひろげる」という見出として、既習を得た認識をさらになげるような内容も掲載されており、児童の主体的な調べ学習を促すよう配慮されている。	「つかむ→調べる→まとめ→かかす」の学習過程の中で、学習問題、調べること、調べの方、まとめ方等が位置付けられており、問題解決的な学習を組んでいる。「ひろげる」という見出として、既習を得た認識をさらになげるような内容も掲載されており、児童の主体的な調べ学習を促すよう配慮されている。
内容の範囲及び程度	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクター」、「多様な本筋的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習」、「知識・どうらい」、「幅広い知識・技能」、「多様性への配慮がされないこと」、「児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるうこと」、「児童の主体性を尊重する」とともに、「福岡スタンダード」に位置づけている。 エ 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を尊重していること。	互いに相反する考え方の例示や質問・意見などの交流例ではなく、資料から分かることと、や意見などが記載されている。互いの個性化や価値観などの違いに相対する配慮が十分ではない。 子どもの生活にとって身近なものを資料として取り上げた調査活動が設定されており、安全・衛生面に配慮がなされたものである。
内容の範囲及び程度	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、多くは取り上げられていない。取り上げられている内容は、既習にいたしました適切な内容であり、児童の負担にならないよう配慮されている。
内容の範囲及び程度	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	全体の分量は授業時数から見て概ね適切である。
分量	カ 学習指導要領の目標や内容の取扱いがどの程度まで達成できるか。 ウ 各分野、領域及び内容の取扱いがどの程度まで達成できるか。	内容と授業時数に限りはなく、適切に分配されている。
分量	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	各分野、領域および内容に偏りがなく調和がとれている。
分量	4の使用上便利なツールを活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	各单元の学習内容に応じて、必要なことを読み取るために写真、地図、統計資料が配置されており、資料からわかる内容の発言例の中で示している。 指導要領にある「選択・判断」に関する内容には、「いかす」と明記されており、内容面に關してもこれまでの学習を踏まえた構成になっている。
分量	甲 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように文字や文字数、文字の大きさは標準的である。特に図や写真などに關しても鮮明であり、ひとつひとつ大きく記載されているため、すべての児童が使用しやすいようになっている。ただし、字体はUDではない。	二次元コードを開くと単元ごとに映像資料やワーケーシート等がまとめられている。児童が必要とする情報以外のものが記載されているので、教師にとっては活用やすいが、児童にどつては適切に情報収集するという点では課題がある。ワーケシートも同様で、児童が主体性を高めるという点では課題がある。
分量	乙 甲通りであり、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が適切であること。	字体や文字数、文字の大きさは標準的である。特に図や写真などに關しても鮮明であり、ひとつひとつ大きく記載されているため、すべての児童が使用しやすいようになっている。ただし、字体はUDではない。

□社会の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

社会の観点	所 見	研究会 ⑩注研究委員会
1 社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究できる内容になっていること。	各単元で、「位置や空間」「時期や時間」「事象や人物の相互関係」においての見方・考え方を働きかせることができる内容になっている。 また、どの場面でどのような見方・考え方を働きかせればよいのかが、明記されている。	○ ○
2 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国との歴史や伝統などを通して社会生活について理解できる内容になっていること。	我が国の地形の特徴と気候の特色が別々に取り上げられており、児童の思考の流れとして我が国の国土の特徴が理解しづらい構成になっている。 社会生活について十分に理解できるとは言えない。 具体的な地図資料の表示が小さく、資料を基に地理的環境等を理解し、社会生活へのつなげることが難しい構成となっている。	△ △
3 様々な資料や調査活動を通して情報を適切に聞くべきであることをできる内容になっていること。	多様な資料を閲覧している点は、自ら情報を収集する上でとても効果があるが、資料が小さくなっている。登場人物同士の会話で進んでいくようになっているところが多く、教師によっては表現しやすいが、児童の資料活用力を高める点では課題がある。	△ △
4 間違った解釈に対する社会への影響を予測・判断したり、考えたことや選択・判断した結果が記載されているため、授業で活用しにくい。	いかず「段階において、社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現しやすいように、判断の仕方やまとめ方が提案されているが、詰合せた結果が記載されているため、授業で活用しにくい。	○ ○
5 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	いかずという項目で、これから社会の在り方や、社会への関わり方について考えるページがあり、社会の諸問題を解決することを目指すことができる。しかし、「いかず」の内容は、表現物を作ることが目的化しているものが多く、社会の諸問題を解決することを目的とする活動になっていないところがある。	○ ○
6 地域社会(郷土編)に対する特有の愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国が治るいること。担任国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっている。	市の中後の発展について考える活動があり、郷土愛を育む内容となっている。 郷土の伝統、文化と先人を学ぶ单元では、イラスト資料や写真資料などを使って先人の工夫が紹介している。 ひらがげるの項目では、日本の地図や先人を取り上げ、そのよさを紹介しており、興味がもたらやすくなっている。	○ ○
7 アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっていること。	貿易での世界の国々とのかかわりについて、我が国が諸外国とつながっていること、そして我が国の産業が外国とのかかわりによつて成り立っていることが示されている。 「特色ある地域の人々のくらし」という单元では、国際交流都市の役割を中心にについて振り上げており、アジアや地域との結びつきを意識した内容となっている。	○ ○
8 自然災害における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫、努力等がわかる内容になっていること。	「警戒復旧の順序」を実現する政治において、より具体的な様子や関係機関の動きが順序よく示されており、人々の工夫、努力等がつかみやすい。 防災のための張り組みについて、地方公共団体や地域の人々の話を載っているので、取り組みについての内容がわかる。	○ ○
9 少子高齢化等による地盤社会の変化や情報化による生活や産業の変化がわかる内容になっていること。	情報化による生活や産業の変化がよくわかるような資料が全体的に少なく、少子高齢化等による地盤社会の変化については、具体的な例がないため、理解しにくい。	△ △
10 各学年において、地域や地図、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国や47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっていること。	当該学年において、適切に各種資料が扱われており、我が国や47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を理解できる内容になっている。	○ ○
(第3学年)	身近な地域や市町村の地理的環境など、第3学年の指導要領に記載された内容が理解できる内容となっている。	○ ○
11 身近な地域や市町村の地理的環境、地域の安全を守るためにの消防や地図の働きや消費者生活の様子、地域の移り変わりを理解できること。 また、地域社会に対する取り組みについての内容になっている。	(第4学年) 身近な地域や市町村の地理的環境など、第4学年の指導要領に記載された内容が理解できる内容となっている。 「燃えたりの伝えたりの」という单元では、愛媛県内に燃る古い火のを取り上げているが、燃料が引火後温熱本質(宇宙和島市の八ツ郷など)で、新居浜太鼓祭りと切り替わっていくので、これらの保存にかかる地盤の人々の思いなどを十分に読み取ることがで きならないことも考えられる。	△ △
(第4学年)	身近な地域や市町村の地理的環境など、第4学年の指導要領に示されている第5学年の目標を達成するようになっている。	○ ○
12 都道府県の地理的環境の特徴、地域の人々の働きと生活環境が理解できる内容になっていること。 また、地域社会に対する取り組みについての内容になっている。	(第5学年) 我が国の政治の考え方と地図や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解すれば、学習指導要領に示されている第5学年の目標を達成するようになっている。	△ △
13 我が国の国土の地理的環境の特徴や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりをした先人の夢想や懐かしい文化遺産、我が国と関係ある内容になっていること。 また、我が国に対する愛情、我が国の将来について語れる内容になっている。	(第6学年) 我が国の政治の考え方と地図や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解すれば、6年生の目標に沿って内容は概ね達成しているが、情報が多すぎることが多い。	△ △
14 我が国の歴史や伝統の特徴や文化の現状、社会の情報化と産業の関わりについて語れる内容になっていること。 また、我が国と関係あることの大きな背景として國を愛する心や、我が国の将来について語れる内容になっている。	(第6学年) 我が国の歴史や伝統の特徴や文化の現状、社会の情報化と産業の関わりについて語れる内容になっていること。 また、我が国と関係あることの大きな背景として國を愛する心や、我が国の将来について語れる内容になっている。	△ △

□各教科共通の観点 (社会) 教科書会社名 (教育出版)

内 容	所 見	研 究 会	調査研究委員会
1 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年の目標は達成している。特に、戦争の時代以前においては、「現行で白黒だった写真がカラーになっており、当時の様子を捉えやすく工夫されている。また、太平洋戦争についても、日本軍が行ったことでも色濃く示しておらず、当時の世界の様子を捉えやすい内容となっている。	◎ ◎
2 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ウ 学習指導要領に示す都科及び学年、分野又は言語の内容 ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	内容の程度は、学年の発達段階に則った内容となっている。また、「県の地図を広げて」「わたくしたちの県のまちづくり」という二つの単元で福岡県の内容を扱っている。 目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	◎ ◎ ○ ○
3 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	卷頭で、前学生で学んだ内容の振り返りが写真資料で示されており、加えて社会科の見方・考え方についても確認がされているので、系統的に学ぶ工夫がされている。	○ ○
4 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 各学年における「統かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的な学習及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、福岡ランダードに位置づける「自學・とも学ぶこと」。 イ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「統かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的な学習及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、友達との考え方を分類してまとめて「リーフレットにまとめよう」など、児童の学習が主体的・対話的で深い学びひびきが定められていること。	問題解決学習で繰り返し活動を取り入れる場合、資料と文章のバランスがよく、ノートにまとめるやさしい構成どなっています。また、選択・判断場面の表現物づくりや翻訳合いに取り組みやすくなっています。	◎ ○ ○ ○
5 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 イ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項(以下「発展的な学習内容」といいます。)を取り上げる場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を超したり、児童の負担が過重となることがないよう、多样性への配慮がされていること。	学習問題を作り、それに沿って、単元が展開されている。また、学習問題を「まとめる」学習でやさしく構成してあります。また、選択・判断場面の表現物づくりや翻訳合いにも具体例が示してあります。	◎ ○ ○ ○
6 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 全体の分量は、授業時数から見て概ね適切である。	児童の立場から考ええる「など、社会的事象を多角的・多面的に見ること」の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることによって、児童の立場から見て概ね適切である。	◎ ○ ○ ○
7 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	イ 分割して身近なものを資料として取り上げた調査活動が設定されており、安全・衛生面に配慮がなされたものである。	児童の考え方を相反するものや様々な考え方を例示されており、互いの個性や価値観の違いに十分に配慮されている。	◎ ○ ○ ○
8 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 全体の分量は授業時数から見て概ね適切である。	「SDGsとつなげてかんがえよう」という発展的な活動があるが、学習した内容を基に考える構成になっており、児童の負担になることは考えにくい。	○ ○ ○ ○
9 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	イ 分割して身近なものを資料として取り上げた調査活動が設定されており、安全・衛生面に配慮がなされたものである。	児童の立場から見て概ね適切である。	○ ○ ○ ○
10 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切である。	児童の立場から見て概ね適切である。	○ ○ ○ ○
11 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	イ 各分野、領域および内容に偏りがなく開拓がとれていていること。	各分野、領域および内容に偏りがなく開拓がとれている。	○ ○ ○ ○
12 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに効果的に配慮されていること。	各単元の学習内容に応じて、必要なことを読み取るために写真、地図、統計資料が配置されたり、資料からわかるることを児童の発言例の中で示している。	○ ○ ○ ○
13 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	既習事象を基にして考える内容が取り上げられている。また、このことが学習が発展的学習内容であることが明示してある。	○ ○ ○ ○
14 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	ア 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	二枚元コードを読み取ると、NHKForSchoolの動画へのリンクであったり、教材の読み取り方を詳しく解説するサイトに移行したり、情報を読み取るため、分析するための工夫がされていて詳しく述べられています。	○ ○ ○ ○
15 回 程 度 及 び 内 容 の 関 連	印 刷	字体や文字数、文字の大きさは概ね適切であり、特に図や写真などに關しても鮮明であり、ひとつ大きく記載されているため、すべての用語が使いやすくなっています。また、見開きページの右部分の毎時間の問い合わせが記載されており、1単位時間の学習の内容が捉えやすいレイアウトとなっています。	◎ ◎ ○

□社会の観点 教科書会社名（教育出版）

社会の観点	所 見	研究会
社会的見方・考え方を働きかせ、課題を追究できる内容になっていること。	各單元で、「位置や空間」「時期や時間」「事象や人物の相互関係」においての見方・考え方を働きさせることができることで、見方・考え方を働かせるために、また、どのようにして見ている。	○ ○
地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国との歴史や伝統文化などを通して社会生活について理解できる内容になっていること。	我が国の地形や気候の特徴、そして、様々な土地の人々の暮らしの様子、児童の思考が進展・発展しながら理解できるような構成になっている。	○ ○
様々な資料や調査活動を通して情報を通じて理解できる内容になっていること。	写真や地図資料など様々な種類の資料が掲載されており、それらを活用して適切に調べる活動を行うことが期待されるが容なつて、グラフについても二次元コードを聞くと、グラフの見方やNHK for Schoolが表示され、自ら調べやすい構成となっている。	◎ ◎
多様な認め合い、人権尊重の精神に基づき、社会的事象の特徴や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる複数の問題について、その解決に向けて社会への関わり方を選択、判断したことや選択、判断したことによって理解できる内容になっていること。	考えてきたことを多角的に捉え、まとめることができるようなフォーマットが具体的に示してある。また、「いかす」でも、「自分たちにできること」を具体的にどのように話し合っていけばいいのか記述がある。	○ ○
社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	3年「わたしたちのまちど市」の学習の導入では、学校の屋上から児童が実際に目に見えるまちの様子を360度ハノラマ写真で掲載している。「この時間の間い」次につなげようが並置かれ、「聞いた誰が誰をして、発展していく構成となっている。	◎ ◎
地域社会(郷土・福岡)に対する情熱と愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の國士と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の國々の人々と共に生きていいくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっていること。	具体的な人物の話を中心に、地域社会について自分を深めることができるとができる構成になっている。國士や歴史についても、年次資料で掲載されている。	○ ○
アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっていること。	販売や貿易、歴史、日本とつながりの深い国々等において、アジア・世界の国・地域との関わりや政治の働きへの関心を高める内容になっている。	○ ○
自然災害等における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫、努力等がわかる内容になっていること。	様々な自然災害等に備えて、国・県・市のなどの自治体がどんな取り組みをしていることがわかる内容になっている。また、災害の種類ごとに各自できるようにしており、地域に合わせて、選択ができる内容となっている。	◎ ◎
少子高齢化を具体的な例で挙げており、社会の変化が捉えやすい。	少子高齢化を具体的な例で挙げており、社会の変化が捉えやすい。	○ ○
各地団体や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るためにの防護活動や地域の産業と消費者の様子、地域の移り変わりを理解できる内容になっていること。また、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。	各学年において、地区や地団体、組織などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名所と位置、世界の大洲と主な海洋の名所と位置等を身に付けることができる内容になっていること。	○ ○
(第3学年) 動作や行為や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るためにの防護活動や地域の産業と消費者の様子、地域の移り変わりを理解できる内容になっていること。また、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっていること。	これからの社会の在り方や自分の社会への関わり方を考える学習が適宜行われられており、その内容も3年生の先達段階に即したものである。そのため、地域社会の一員としての自覚を養うことが十分に期待できる。	◎ ◎
(第4学年) 郷土的・民族的・地域的の特色や産業の実態の把握と生産環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守る防護活動、地域社会の問題等に対する取り組み等について理解、地域社会に対する情りや愛情を養うことができる内容になっていること。	「地域で受け継がれてきたもの」という単元では、導入で福島県の地図と県内各地域で行われている行事が紹介され、年次資料や写真・地図の両方へのインクヒューなど豊富な資料で祖先を保めることができる構成で、地域社会に対する情りや愛情を養うことができる内容となっている。	◎ ◎
(第5学年) 我が国と世界の地理的環境の特色や産業の実態の把握と生産の関係を踏まえて国民生活との関連を理解しての自覚を養うことができる内容になっていること。また、我が国との国土に対する愛情、我が国と世界の地理的環境の特色や産業の実態の把握と生産の関係を踏まえて国民生活との関連を理解しての自覚を養うことができる内容になっていること。	社会的事象の複数題について考え、よりよい社会が形成するためにはどうすればよいか、SDGsとつなげて考える場面が設定され、「やはりこれがいいの将来を担う國民としての自覚を養う内容などになっている。	◎ ◎
(第6学年) 我が国と世界の地理的環境の特色や産業の実態の把握と生産の関係を踏まえて国民生活との関連を理解しての自覚を養うことができる内容になっていること。また、我が国との国土に対する愛情、我が国と世界の地理的環境の特色や産業の実態の把握と生産の関係を踏まえて国民生活との関連を理解しての自覚を養うことができる内容になっていること。	6年生の目標に沿って、内容は概ね進んでいる。特に、難金の時代以降においては、現行で白黒だった写真がカラー写真にかけており、当時の様子を捉えやすくなっています。また、我が国との歴史や伝統を大切にし国を愛する心情、我が国が世界の人々と共に生きるこの大切さを育むことができる内容が成っていること。 <td>◎ ◎</td>	◎ ◎

5

□各教科共通の観点（社会） 教科書会社名（日本文教出版）

各教科共通の観点

	所見	研究会 調査研究委員会
1 内容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	社会への関わり方を選択・判断する単元では、終末に学習を生かしてカードにまとめたり、話し合つたりする場面の説明が位置付けあるため、取り組みやすい。教科の目標を意識した内容などになっている。
2 内容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	児童などが大きく掲載しており、児童の問い合わせが自然な流れで学習につながる内容になつており、当該学年の発達段階に適している。
3 分量	ア 全体の分量は、授業時間数から見て適切であること。 イ 各分野、領域及び内容に示す事項が、授業時間数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	社会への関わり方を選択・判断する単元では、終末に学習を生かしてカードにまとめたり、話し合つたりする場面の説明が位置付けあるため、取り組みやすい。教科の目標を意識した内容などになっている。
4 使用	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の際に有効に活用されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	児童の発言例においては、SDGs」の内容にあつた「考え方より！」がついているなど、ペダンチックな構成が「ページの左側に「問い合わせ」という言葉が、そして、文字の■が比較的多い。
5 文字	ア ニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び図本の様式、材料等が適切であること。	児童の発言例にはイラストがつき、上に筆記してあるため児童が使用しやすくなっている。しかし、文字の■が比較的多い。

□社会の観点 教科書会社名（日本文教出版）

社会の観点	所見	研究会
1 社会的見方・考え方を働きかせ、課題を追究できる内容になっていること。	位置や空間的広がり、時期や時間の経過、事象や人物の相互關係などの視点から問題を追究できる内容になっている。	○ ○ ○
2 地盤や我が国との地理的関係、現地社会の仕組みや働き、地域や我が国との歴史や伝統文化などを通じて社会生活について理解できる内容になっていること。	現代社会の仕組みや働きが捉えやすい内容、我が国の地形や気候の特徴からその土地に人々の暮らしの様子を学習する内容となつており、理解しやすい学習内容となっている。	○ ○ ○
3 様々な資料や調査活動を通して作業を通じて課題を解決することができる内容になっていること。	写真や統計資料など様々な種類の資料が掲載されており、それらを活用して選別に關する活動を行うことが期待される内容となっている。	○ ○ ○
4 多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事件の特徴や相互の関連、異端を多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したり、社会を見ることで選択・判断したことなど選択的な視点で表現できる内容になっている。	多様性については、JOY俱楽部やSDGsなど様々な視点の視点が掲載されている。社会への関わり方を選択・判断について、私は、政治の分野において、自分がどう見えるのかを教科書に書き込もうなどがあるから、子ども達にかり考へさせよううにしていく。	○ ○ ○
5 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	主張的に問題解決をする態度をもううことができるようになり、「深め合い」活動を紙面化し、児童の主体性を發揮した構成になつてゐる。	○ ○ ○
6 地域社会(郷土協同)に対する特徴と愛情、地盤社会の一面としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚ができる内容になっていること。	人物の底やSDGsの根柢を基盤に、地域社会の一員としての自覚を保めることができる内容になっている。また、組合いや表現物についても詳しい説明やイラストがあるので、地盤社会の一員としての自覚を保めることができる内容になっている。	○ ○ ○
7 アジア・世界の国・地図との関わりや政治の働きへの関心を育む内容になっていること。	各单元ごとにSDGsの視点でのコラムが示されており、持続可能な社会に向けた取り組みや地域の国や地図との比較なども例示されているので、世界の国々との関わりにも関心を持らせやすい内容となつていて、	○ ○ ○
8 自然災害時における地方公共団体の働きや地盤の人々の工夫・努力等がわかる内容になっていること。	自然災害として、地盤を中心に取り扱つており、自然災害時における地方公共団体の働きや地盤の人々の工夫・努力等が少なくなく、理解しづらい。	△ △
9 少子高齢化等による地盤社会の変化や情報化による地盤社会の変化がわかる内容になっていること。	情報を生かして発展する産業を選択して、追究できるような構成になっており、情報化に伴って各産業がどのように変化していくのか理解できる内容になっている。	○ ○ ○
10 各学年において、地図や地図帳、紙製などの各種の資料を適切に活用し、我が国の4都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっていること。	各单元の導入で、取り上げる都市の位置を示す地図資料が載つていて、しかし、日本地図全体の中の位置を示すものと、地方中の位置を示すものがあり、統一されていない。	△ △
11 (第3学年) 読むための文章量が多くなっている。さらに、発展的な内容などを示すと教科書に示される全ての内容を捉え理解するのに困難となる。	学習指導要領で示される第3学年の目標を達成できる内容となつていて、さらに、発展的な内容などに示される全ての内容を捉え理解するには困難となる。	△ △
12 (第4学年) 地盤の地理的環境の特徴、地盤の人々の働きと生活環境を支える働きや自然災害から地盤の安全を守るために行なわれる防災活動、地盤の伝統文化に対する取り組みなどについての自覚を育てる内容になっている。	(第4学年) 地盤の地理的環境の特徴、地盤の人々の働きと生活環境を支える働きや自然災害から地盤の安全を守るために行なわれる防災活動、地盤の人々や、参加する人々の思いなどに関する資料が掲載され、地盤社会に対する説りや愛情を養うことができる内容となっている。「くんち」を文える「わたくしたちのまちに伝わるもの」という單元では、長崎市に伝わる「くんち」について一貫して取り上げている。	○ ○ ○
13 (第5学年) 地盤の地理的環境の特徴、地盤の人々の働きと生活環境を支える働きや自然災害から地盤の安全を守るために行なわれる防災活動、地盤の人々の働きを育てることができる内容になっている。	(第5学年) 地盤の地理的環境の特徴、社会の慣習化と産業の開拓について国民生活との関連を踏まえて理解でき、我が国が国民としての自覚をもつて、我が国の人々に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の人々としての自覚をもつて、我が国の人々に対する愛情、我が国の人々に対する愛情を育てる内容になっている。	○ ○ ○
14 (第6学年) 我が国が政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな影響をもたらす人の業績や歴史文化遺産、我が国と世界の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の人々に対する愛着感について理解できる内容、我が国の人々と世界の人々が生きることの大切さについての自覚を養うことができる内容になっている。	(第6学年) 我が国が政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな影響をもたらす人の業績や歴史文化遺産、我が国と世界の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の人々に対する愛着感について理解できる内容、我が国の人々と世界の人々が生きることの大切さについての自覚を養うことができる内容になっている。	○ ○ ○



地圖

小学校

調査研究報告書（答申）

令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究の観点と主要な審議内容（地図）

□教科の観点について

観点	主な審議内容
2 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容についていること。	◎【帝國書院】○【東京書籍】→研究会の評価どおり　ただし審議を受け所見の記述を変更 所見の「必要最小限」という文言は、誤解を生じやすいため、「小学校で学習すべき内容が適切に配置されている。」などの言葉に変更した方がよい。

□ 地図の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

地図の觀点	所見	研究会 調査研究委員会
1 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味や働きなどについて考え、調べたことや考えたことを表現することができる内容になっていること。	各学年の学習内容を意識した内容構成となっており、単元に応じて地図・統計資料を活用しながら調べることができる内容となっている。 しかし、調べる内容に必要なものもある。	○ ○
2 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国の位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。	47都道府県の地図に関しては、地方ごとに色分けしており、位置関係を把握しやすい。地形や海の深さまで視覚化されており、多角的に追究できる内容である。	○ ○
3 県の特色や国土の地理的環境の特色や産業の関わり、国民生活との関連を考えることができる内容になつていること。	県の特色や国土の地理的環境と工業や産業との関わりが明記されており、国民生活との関連を考えることができる内容となっている。しかし、情報量が多いところがあり、学習内容に必要なないものもある。	○ ○
4 方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になつっていること。	方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容となつっているが、情報が多く記載が小さいところもあり、児童にとっては活用にくい。	△ △
5 近隣の諸国の正式な国名が分かることともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それらを尊重する態度を養う内容になつていること。	近隣の諸国が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解するが、それらを尊重する態度を養う内容になつているが、それらを尊重する態度を養う内容になつていない。	○ ○
6 児童が興味・関心をもつて、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べることができる内容になっていること。	世界の動物や料理、日本の貿易相手国、歴史上の世界とのかかわりなど、我が国とつながりが深い国を選択して調べることができる内容である。	○ ○
7 資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になつていること。	資料等はほとんどが最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になつている。また、統計資料は、数字が大きく、見やすい構成となつている。	○ ○

□ 地図の観点 教科書会社名（帝国書院）

地図の観点	所見	研究会 調査研究委員会
1 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味や働きなどに表現することができる内容になっていること。	広く見渡す地図になつておらず、特に3~4年生にとつて身やすぐ全体を捉えることができない。歴史の年表はとても詳しく、地図から歴史的事象を捉えることができるものである。授業の中でも活用やすい。	◎ ◎
2 我が国の47都道府県の名称と位置、世界の大陸と主な海洋の名称と位置、世界における我が国的位置、国土の構成、領土の範囲などが理解できる内容になっていること。	小学校で学習すべき内容が適切に配置されている。世界の地図では、地形図と国ごとに色分けした地図と2種類あり、目的によって使い分けすることができる。どちらも分かりやすい。47都道府県の名称と位置、及び国土の構成や領土の範囲、大陸と海洋の名称と位置が明確に示されており、我が国の位置を表現する活動に活用できる内容になっている。	◎ ◎
3 県の特色や国土の地理的環境の特徴や産業の関わり、国民生活との関連を考えることができる内容になっていること。	土地の高さや土地の使われ方の色遣いが見やすく、生産品がイラストなどで記載され、県の特色や環境と産業の関わりが捉えやすい。「日本の自然災害と防災」の資料があり、教科書には乗っていない地図で災害について示してあるので理解しやすい。	◎ ◎
4 方位や主な地図記号を理解し、活用することができる内容になっていること。	主に3年生に向けに「方位」「地図記号」「土地利用」を取り上げているページがあり、わかりやすいなどな内容などしている。地図と関連付けて方位を説明しており、活用までの促す構成などしている。地図記号は精選して掲載されており、地形や土地利用との関わりが捉えやすい。	○ ○
5 近隣の諸国が分かるとともに、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それらを尊重する態度を養う内容になっていること。	世界各国の文化について紹介する地図を掲載したページには、国ごとの国旗や人気、言語などを紹介したコラムもあり、兒童が自分で選択して読むことができる内容となっている。	○ ○
6 少童が興味・関心をもつて、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認めつつ、我が国とつながりが深い国を選択して調べることができます。内容になっていること。	各ページにいくつかの国の様子を写真入りで紹介し、世界の地図のページにはトピック（地図マスターへの道）があり、兒童が興味・関心をもつことができる構成などしている。SDGsの視点からの世界の国の紹介があり、様々な地域の価値を知ることができる内容などしている。我が国とつながりが深い国として、貿易や食料問題について地図だけでなく、統計資料も併せて読み取りながら調べることができることになっている。	◎ ◎
7 資料等は2020年前後の最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっていること。	資料等は最新のものであり、適切に出所・出典が明示された内容になっている。	○ ○



算數

小学校

調査研究報告書（答申）

令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究の視点と主な審議内容（算数）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点	主な審議内容
ウ	<p>「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクタ教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行なうことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>◎【東京書籍、日本文教出版】→研究会の評価どおり　ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <p>子どもたちが自ら問題解決を進めていけるように、具体的な学習活動が明記されているかなどの点から、◎と○を判断しているということが、その点が分かるよう所見を変更した方がよい。</p>

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点（算数）・教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1 範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容にになっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。 各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。	○ ○ ○ ○	○ ○
2 配慮事項	ア 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	他教科と関連性のある教材を扱つており、教科横断的な指導が行えるようになっている。 各学年で示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○ ○ ○	○ ○
3 量	ア 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 カ 学習指導要領に示す内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げる場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的基本的な学習及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも・学」を効果的に行なうことができるようになっている。 「第2次福岡市教육委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重する工夫がある。特に、問題場面は、多様な考え方を引き出し比較検討したり、対話的な学びを喚起したりするようがんばりが配慮されている。 児童の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
4 便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品・資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の流れに有効に働くように配置されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書が①②、2年生～5年生が上下巻に分かれている。また、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明で、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の構造、材料等が適切であること。 1年生の教科書がA4サイズになっている。また、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
5 本				

研究会見	研究会	研究会見
1. 數学的な考え方・考え方をつかって、数学的活動を通じて、結果の発生や社会の事象等について数量や四角形に着目して問題を承認して解くこと。それとともに、解説過程を振り返ることで、結果の発生や社会の事象等について数量や四角形に着目して問題を承認したこと。	2. (A数と計算)、(B 図形)、(C測定)、(Dデータの活用)及び(Dデータの活用)の5分類間の指導の関連を図ることができる内容になつてあること。その際、数学的活動を通じて指導することができる内容になつてあること。	3. 「A数と計算」では、次の3点が重視された内容になつてあること。 (1) 整数、小数及び分数等、その性質について理解すること、數についての感覚を豊かにし、それらの数の計算の計算領域の単元では、学習内容を段階的に分け、計算の出方などが理解できるようになつてある。 (2) 物理、力学などの知識、物理などの問題に着目し、計算の仕方や計算の問題を解きたり、統合的・総合的な計算を解きたり、計算の仕方や計算の問題を解きたり、その他の表現を理解せよといふこと。 (3) 文字の意味を読み取ること、文字の意味を読み取ることや、教科書を読み取れたり、教科書を読み取れたり、教科書を読み取れたり、教科書を読み取れたり。
4. 「B 図形」では、次の3点が重視された内容になつてあること。 (1) 図形について理解し、図形についての感覚を豊かにし、その性質について理解すること。 (2) 図形を構成する要素、その関係、図形間の関係について考査すること。 (3) 図形の性質を理解して、図形の構成の仕方、図形の計算について考査すること。	5. 「C測定」の問題では、次の3点が重視された内容になつてあること。 (1) 身の回りのものについて、その量を及び測定の原理と方法を理解するとともに、量についての感覚を豊かにし、量を実際に測定すること。 (2) 身の回りの量について、量の単位について理解することで、量についての感覚を豊かにし、量を実際に測定すること。 (3) 測定の方法や結果を量と量の比較的的な量について工夫し、改善すること。	6. 「Dデータの活用」の問題では、次の3点が重視された内容になつてあること。 (1) 2つのデータを比較して、両者の関係について検討し、変化や対応の様子を察め、グラフにしましたり読みだすとともに、二つの数や体積などを対応する量について比較して、数や式を用いて変化や対応の性質を考察する。 (2) 教科書の計算問題に着目し、数や式を用いて変化や対応の性質を考察するとともに、二つの数量の関係に着目し、数や式などを用いて変化や対応の性質を考察する。 (3) 学生の行為や結果を量と量の比較して工夫し、改善すること。
7. 「C算数と計算」では、次の3点が重視された内容になつてあること。 ① 教科書の問題を解きながら、算数や計算の仕方を理解し、問題に対する自分の感覚を出したり、その結果の発生性について検討するため、算数などときめかわさとするとともに、統計的な問題解決の方法について理解すること。 ② データを用いて、データの性質や相関を把握し、問題に対する自分の感覚を出したり、その結果の発生性について検討するため、算数などときめかわさとするとともに、統計的な問題解決の方法について理解すること。	8. 「C算数と計算」では、次の3点が重視された内容になつてあること。 ① 教科書の問題を解きながら、算数や計算の仕方を理解し、問題に対する自分の感覚を出したり、その結果の発生性について検討するため、算数などときめかわさとするとともに、統計的な問題解決の方法について理解すること。 ② データを用いて、データの性質や相関を把握し、問題に対する自分の感覚を出したり、その結果の発生性について検討するため、算数などときめかわさとするとともに、統計的な問題解決の方法について理解すること。	9. 「C算数と計算」では、次の3点が重視された内容になつてあること。 ① 教科書の問題を解きながら、算数や計算の仕方を理解し、問題に対する自分の感覚を出したり、その結果の発生性について検討するため、算数などときめかわさとするとともに、統計的な問題解決の方法について理解すること。
10. 具体物を操作したり、模型や図形について実験を行うことができる内容になつてあること。 (用語、記号)が各学年の内容と直接連絡があること。	11. 具体物を操作したり、模型や図形について実験を行なうのができる内容になつてあること。 (用語、記号)が各学年における「ぶりかわリコーナー」で、用語や記号が学習した学年ごとにまとめられている。	12. 教科書や図形についての豊かな感覚を持つ子どもたちに、おもその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、統計的な処理の仕方を示すなど、能動的な処理の仕方を考えさせることができるようにになっていいる。
13. 教科書による計算の技術を確実に身に付けることなどを重視するなどに、目的において計算の結果の見直しをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になつてあること。	14. 教科書による計算の技術を確実に身に付けることなどを重視するなどに、目的において計算の結果の見直しをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になつてあること。	15. 教科書による計算の技術を確実に身に付けることなどを重視するなどに、目的において計算の結果の見直しをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になつてあること。

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (大日本図書)

各教科共通の観点		所見	研究会 調査研究委員会
内容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○
1 図及び表	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。	○ ○
2 配布事項	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○
内容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科と関連性のある素材を挿っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。5・6年の巻末で、中学校と関連のある問題が挿入され、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。	○ ○
3 分量	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	2年生以上の巻頭に、ノートの書き方を示したページが設けられている。また、説明の仕方や書き方についても提示しており、充実した言語活動が行えるようになっている。	○ ○
内容	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きる力」を育むため、多様な体験的な学習や基礎的・本質的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学」と「学業」を効果的に行なうことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	2年生以上の巻頭に、「算数の主なび方」を設け、問題解決の過程が分かるようにして、主な学びが凝縮されるようになっている。	○ ○
4 使用上	エ 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	それぞれの考え方の比較検討ができるような場面を設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになっている。	○ ○
内容	オ 体験活動、実験 実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○ ○
内容	カ 学習指導要領に示す内容の取扱いには、学習指導要領の目標や内容の趣旨を超えた事項(以下「発展的な学習内容」といいます)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元の途中に、単元の学習を活用して解決する問題が設定され、児童が自己選択して取り組むことができるようになっている。	○ ○
内容	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応した分量になっている。	○ ○
内容	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が分配されている。	○ ○
内容	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	5領域の内容が偏りなく掲載されている。	○ ○
4 使用上	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配慮されていること。	数直線のかき方の特設ページがあり、数直線をかきながら、問題場面や演算決定の意味理解が図れるようになっている。	○ ○
4 の便宣	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元の途中に、「学んだことをいかそ」「さらに考えよう」という名称を示し、区別できるよう正在している。	○ ○
内容	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	問題解決の際に試行錯誤ができるようなコンテンツが準備されている。	○ ○
5 印刷	△ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	1年生だけ①②に分かれしており、2~6年は1年に一冊となっており、重たく、持ち運びが不便である。絵、写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえている。	△ △

□算数の観点 教科書社名（大日本図書）

算数の観点	所 見	研究会
1 数学的な考え方、考え方を働きかせ、数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や图形に着目して問題を見出し解決するとともに、解決過程を振り返ることで、概念を形成したり、概念を形骸化したりする。	働きかせるべき数学的見方、考え方を用いて示されている。	「立研究会」 の後にキャラクターの次第を用いて示されている。
2 (A数と計算)、(B 図形)、(C測定)、(Dデータ)の適用の5個領域の指導の関連を図ることができる内容になっている。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、領域間の関連を図る内容になっている。	○ ○
(1) 整数、小数及び分数が並んでおり、その性質について理解することとともに、数についての感覚を養むために、それらの数の計算の意味について理解し、計算に理解すること。 (2) 整数や分数が数量の関係に着目し、計算の仕方を基にしたり、統合的に考えたり、数量を基にしたり、計算の内容を基にしたり、式の意味を理解し、計算を用いて解説していくこと。 (3) 整数や式を用いた数理的な処理の上に気付き、数や計算を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること	計算領域の単元では、学習内容を段階的に分け、計算の仕方がどうが理解できるようになっている。 絵画や図式を用いて示すことで、式の意味が理解できるようになっている。	○ ○
(B図形)の領域では、次の点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形や空間の概念について理解し、图形について豊かな感覚の育成を図るとともに、四角形を構成したり、图形の面積や体積をめぐらすこと。 (2) 図形の面積、图形の性質、图形の構成の3つの要素について考察すること、图形の計算について計算の仕方、图形の計算について計算の仕方を知り、結論立てて適用すること。 (3) 図形の操作的な特徴のよさをや图形の美しさを引き、图形の性質を生活や学習に活用しようとするとする態度を身に付けること	具体的な操作活動が取り入れられており、图形の感覚を育成することができるようになっている。 基本の图形操作語彙やシートを充電が自由につかれるようになっていたり、图形の美しさが理解されいたた りして、图形の美しさにふれることができるようになっている。	○ ○
(C測定)の領域では、次の点が重視された内容になっていること。 5 (1) 身の回りの事象の特徴を量に着目して、量の標準と方法を理解するなどにも、量についての感覚を養むために、量を実際に測定すること。 (2) 身の回りの事象の特徴を量に着目して捉え、量の標準を用いて量に着目して、量とその測定を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること。 (3) 測定の仕方や結果を周囲に伝つて、教科的な知識のよさに気付くこと。	実際に測定する活動が取り入れられており、量についての感覚を養むためにする指導が行き届いたりしている。 量についての感覚を育むために、歩く時にかかる時間の感覚をつけて長さを測る活動が取り入れられているなど、学習した内容を日常生活に生かすことができる活動が設定されている。	○ ○
(C変化と関係)の領域では、次の点が重視された内容になっていること。 6 (1) 使ってみる二つの数量の関係について理解し、変化や対応の様子を学び、グラフに表したり紙んだりするとともに、二つの数量の関係について、2つの量の関係について理解し、これらを求めるために、二つの数量の関係に着目し、因式を用いて解くこと。 (2) 使ってみる二つの数量の関係について、2つの量の関係の仕べ方を用いて、量とその測定を身に付けること。 (3) 測定の仕方や結果を周囲に伝つて、教科的な知識のよさに気付くこと。	割合については、2年生の「かけ算」の学習に「倍」が取り入れられていたり、3・4年生に「倍」について学習する単元を設けたりと、 3・4年生の単元では、「倍」が取り入れられている。また、5年生の「速さ」では、テーブルや數直線を用いて、数量の関係やまでの意味理解が図られるようになっている。	○ ○
(Dデータ)の領域では、次の点が重視された内容になっていること。 7 (1) すべてでデータを集めて分類整理し、適切な方法で表現するなどして、生活感などをめぐらすとともに、統計的な問題解決の方法に慣れてくること。 (2) データの中でも特徴や傾向を把握し、問題において自分なりの経験を出したり、その経験の妥当性について批判的に考察したりするこ (3) 統計的な問題解決のよさに気付く、データやその分析結果と生活や学習に活用しようとするとする態度を身に付けること	6年生の単元末に、統計的な問題解決の過程を振り返るページが設けられており、過程の意味が理解できるようになっている。 グラフの読み取り方の正解を理由とともに前の問題を解き、批判的に考察する力の養成が図られるようになっている。	○ ○
8 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の標準に当たっては、具体物、図、表、式、グラフを用いて考へていること。 9 數量や图形についての感覚を養むために、图形について多角な感覚をつくり、遊びながら、計算を学ぶ感覚を図る内容になっていること。 10 具体物を操作したり、日常生活を観察したり、問題を解決したりするなどの具体的な体験を学習を通じて実感を味わうことができる。 11 「用語・記号」が各学年の内容と密接に関連させられており、それらを用いてましたり考えたりするなどのよさが分かる内容になっていること。	各学年に「読み取る力をのばさない」ページを配り、図や表を用いて考える力の養成を図ることができるようになっている。 図や式、言葉で示された考へるの意味を読み取る活動を取り入れ、互いに学び合ふことができるようになっている。	○ ○
12 數量や图形についての感覚を育むために、おもその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な處理の仕方を考へさせてできるようにしてある。	単元の設定箇所にモニターマークや「次元コード」を抜け、コンピュータを活用すれば、計算が行えるようになっている。 全学年に「プログラミングにちゅうさん！」というページを抜け、コンピュータを活用すれば、計算が行えるようになっている。 特に、デジタルコンテンツが児童が直接接続入ることができる、試行錯誤を繰り返して作業を実現することができるようになっている。	○ ○
13 數量による計算の技術を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果をもとして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっている。	2年生以上の単元末に「算数たまご」という学習したことと日常生活の中で生かす内容のページを取扱い、算数を学ぶ意識が実感できるようになっている。	○ ○
14 [用語・記号]が各学年の内容と密接に関連させられており、それらを用いてましたり考えたりするなどのよさが分かる内容になっていること。	2年生以上の単元末に用語や記号が学習した学年ごとにまとめられている。	○ ○
15 數量や图形についての感覚を育むために、おもその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な處理の仕方を考へさせてできるようにしてある。	3年生に「時算」で計算するページを取扱い、複数の時算の仕方を示すなど、能率的な處理の仕方を考へさせてできるようにしてある。	○ ○
16 計算による計算の技術を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果をもとして、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっている。	4年生の「わり算の算算」では、算算の仕方を並べごとに段階的に示し、計算の仕方にについて適切に判断できる内容になっている。	○ ○

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (学校図書)

	各教科共通の観点	所見	研究会	調査研究委員会
内容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を動かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○	○ ○
1.画 及び 程度	イ 内容の程度は、その学年の児童に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。	○ ○	○ ○
及び 程度	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○
内容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科と関連性のある素材を扱っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。 6年生に「中学校へのかけ橋」という別冊を設け、中学校との接続が中間年に実行されるようになっている。 数学的な見方・考え方をキャラクターとして設定し、見方・考え方を系統的に動かせやすくしている。	◎ ◎	◎ ◎
内 容 に 關 する 事 項	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各学生に「ノート」など人にならう!というページがあり、どのように考えたかの足跡が分かるように示されて いるとともに、名人ボイントがあり、充実した言語活動が行えるようになっている。	○ ○	○ ○
配 度	ウ 「第2次福岡市教育基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤ」 ア教育の推進のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学 習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・ども学」を効果的に行なうことができるよ うに児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されよう配慮されていること。	2年生以上の巻頭に、「みんなどう学ぼう! 算数の学び方」を設け、問題解決の過程が分かるようにし、 主張的な学びが記述されている。	○ ○	○ ○
度	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を持つ事 が重視され、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	それぞれの考え方の比較検討ができるような場面を設け、多様性を認め合いながら学習を開拓するこ とができるようになっている。	○ ○	○ ○
度	オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○ ○	○ ○
度	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「総括的な学習内容」という) を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりする ことがないように配慮されていること。	単元末に、単元の学習を活用して解決する「もとと算数」が設定され、児童が自己選択で取り組むこと ができるようになっている。	○ ○	○ ○
度	ア 全体の分量は、授業時間から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○ ○	○ ○
度	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分され ていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○ ○	○ ○
度	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	5領域の内容が偏りなく掲載されている。	○ ○	○ ○
度	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、 学習の深まりに効果的に配慮されていること。	4年生以上から、数直線に4マス関係表を合わせて提示し、問題画面や演算決定の意味理解が図れ るようになっている。	○ ○	○ ○
度	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示 されていること。	「深めよう」「まなびを生かそう」という名称を示し、区別できるようにしている。	○ ○	○ ○
度	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理、分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコ ンテンツが適切に配置されていること。	自分の考えを書くことができるコンテンツや制限時間を設定して練習問題に取り組むことができるコン テンツが準備されている。	○ ○	○ ○
度	印 刷	1年生~5年生の教科書が上下巻に分かれている、重量の負担感減になつて、重い本よりも軽い本であるが、教科書のサイ ズが他の教科の教科書やノートのサイズと揃っていないため、整頓する際に不便である。 写真、図はユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明 であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	△ △	△ △
度	製 本			

1) 豊かな社会を創り、数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や图形に着目して問題を見出し解決すること。2) その際、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。	[A数と計算]、[B 国形]、[C 判定]、[C(変化と関係)及び[Dデータの活用]の範囲間の指導の関連を図ることができる内容になっていること。	豊かな社会を創り、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。	豊かな社会を創り、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。
[A数と計算]、[B 国形]、[C 判定]、[C(変化と関係)及び[Dデータの活用]の範囲間の指導の関連を図ることができる内容になっていること。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、領域間の関連を図る内容になっている。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、領域間の関連を図る内容になっている。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、領域間の関連を図る内容になっている。
[A数と計算]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	(1) 数について理解するとともに、数についての感覚を豊かにし、それらの数の計算の意味について理解し、計算の仕方を理解すること。 (2) 数の表記や計算の関係について理解し、計算の仕方に着目したり、統合的に考えたりするなどや、数量の意味を育てるなど。 (3) 数や式を用いた算術的な表現のときに気付き、数や計算を生活や学習に活用しようとすると同時に、图形の構成の仕方、图形の計算について考査すること。	(1) 基本的な图形や空間の概念について理解し、图形についての豊かな感覚の育成を図るとともに、图形を構成したり、图形の面積や体積などをつくること。 (2) 国形の関係、国形間の関係について理解し、图形の性質、图形の構成の仕方、图形の計算について考査すること。 (3) 国形の操作的な表現のときや图形の表現につけて、图形の性質を身に付けること。	(1) 身の回りの量について理解し、图形についての豊かな感覚の育成を図るために、量を実験に測定すること。 (2) 量について理解し、量の単位を用いて量の関係を用いて理解すること。 (3) 測定の方法で量を測定って数理的な知識を身に付けること。
[C判定]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	(1) 量について理解するときに、量についての感覚を豊かにし、量を実験に測定すること。 (2) 量について理解するときに、量の関係を用いて理解すること。 (3) 量とその関係を生活や学習に活用しようとすると同時に、量とその関係を身に付けること。	[C判定]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	[C判定]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。
[C(変化と関係)の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	(1) 量について理解し、変化や変化的な様子を英語や、グラフに表したり読みだすとともに、二つの量の関係について扱う場合や比について扱う場合で、量や式を用いて量や相対的な位置を理解し、これらを組み合わせること。 (2) 量について扱う二つの量の関係について理解するとともに、二つの量の関係に着目し、図や表などを用いて量の関係について理解する。 (3) 量についてある二つの量の関係について理解するときに、日常生活に生かすことや、日常生活でよく見かけること。	[C(変化と関係)の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	[C(変化と関係)の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。
[Dデータの活用]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	(1) 量について理解し、量や式を用いて量や相対的な位置を理解し、これらを組み合わせること。 (2) 量について扱う二つの量の関係について理解するときに、日常生活に生かすことや、日常生活でよく見かけること。 (3) 量についてある二つの量の関係について理解するときに、日常生活でよく見かけること。	[Dデータの活用]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。	[Dデータの活用]の側面では、次の3点が重視された内容になっていること。
思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容が重視された内容になっていること。	(1) 量について理解し、量や式を用いて量や相対的な位置を理解し、これらを組み合わせること。 (2) 量について理解するときに、量の関係を出したり、問題に対する自分の感覚を出したり、自分の感覚の妥当性について批判的に考察したりして、自分の感覚を身に付けること。 (3) 量についてある二つの量の関係について理解するときに、日常生活でよく見かけること。	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容が重視された内容になっていること。	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容が重視された内容になっていること。
10. 数量や图形についての感覚を豊かにしたり、图形を用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な画面においてコンピュータなどを活用することができる内容になっていること。	10. 数量や图形についての感覚を豊かにしたり、图形を用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な画面においてコンピュータなどを活用することができる内容になっていること。	10. 数量や图形についての感覚を豊かにしたり、图形を用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な画面においてコンピュータなどを活用することができる内容になっていること。	10. 数量や图形についての感覚を豊かにしたり、图形を用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な画面においてコンピュータなどを活用することができる内容になっていること。
11. 「用語・記号」が各学年の内容と密接に連携することができる内容になっていること。	11. 「用語・記号」が各学年の内容と密接に連携することができる内容になっていること。	11. 「用語・記号」が各学年の内容と密接に連携することができる内容になっていること。	11. 「用語・記号」が各学年の内容と密接に連携することができる内容になっていること。
12. 数量や图形についての感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能動的な処理の仕方を考察させることができるようになっている。	12. 数量や图形についての感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能動的な処理の仕方を考察させることができるようになっている。	12. 数量や图形についての感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能動的な処理の仕方を考察させることができるようになっている。	12. 数量や图形についての感覚を育てるとともに、およその大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能動的な処理の仕方を考察させることができるようになっている。
13. 算算による計算の技術を確実に身に付けること。	13. 算算による計算の技術を確実に身に付けること。	13. 算算による計算の技術を確実に身に付けること。	13. 算算による計算の技術を確実に身に付けること。

□各教科共通の観点（算数） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	研究会 調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方 考え方をつかかせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○
範 囲	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。	○ ○
及 び	理 言語の内容及び学年、分野又は言語の目標に応じ、学習指導要領に示す学年、分野又は学習指導要領に示す事項をなく取り上げないこと。	各学年の目標に示されている各学年の目標に準拠した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○
内 容	ア 各教科等及び各学年相互通の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	他教科と関連性のある素材を扱っており、教科横断的な指導が行えるようになっている。6年生の巻末に「数学へのどちらを捨て、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。	○ ○
内 容	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各学年に「友だちのノートを見てみよう」というページが複数設けてあり、ノートを書くときの工夫が子どもたちの吹き出しを通して提示され、充実した言語活動が行えるようになっている。	○ ○
内 容	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的学習が重視され、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	2年生以上の巻頭に、「みんなで算数をはじめよう！」を設け、問題解決の過程が分かるようにし、主張的な学びが促されている。	○ ○
配慮事項	エ 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	多様な考え方の比較検討ができる場面を設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになっている。特に、4年生の複合图形の面積を求める場面では、後の学年の学習で活用できる多様な考え方が出る設定になっている。	◎ ○
内 容	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○ ○
内 容	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となることがないように配慮されていること。	単元の学習を活用して解決する「ステップアップ算数」「学んだことを使う」が設定され、児童が自己選択で取り組むことができるようになっている。	○ ○
分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○ ○
分量	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○ ○
分量	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	5領域の内容が偏りなく掲載されている。	○ ○
使用上	エ 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	巻末に数直線などの図のかき方のページを設けたり、「学びの手引き」で書き方や見方の確認を行ったりして、問題番号や演算決定の意味理解が図れるようになっている。	○ ○
便宣	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「算数を使って考えよう」という名称を巻末に示し、区別できるようになっている。	○ ○
印 刷	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	問題解決する意欲を高めるような動画や学習の振り返りをすることができるコンテンツが準備されている。	○ ○
印 刷	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	2年生～4年生の教科書が上下巻に分かれている、重量の負担軽減になっている。	○ ○

□ 算数の観点 教科書社名 (教育出版)

研究会 評議会	所見	面積の学習で比例の関係を扱うなど、個別問題を図る内容になっている。	計算傾向の単元では、学習内容を段階的に分け、計算の仕方などが理解できるようになっている。
1 数学的な観点 1 細かい計算を頼り込むことで、結果の意味を察しにくい、体験をがんばりきること。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して問題を見出し解決するなどもしくは、解決過程を通して、日常の活動を通して数学的活動を通して、日常の活動を通じて数学的な観点を察し、結果の意味を察しにくい、体験をがんばりきること。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して、計算の仕方が解けられるようになっている。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して、計算の仕方が解けられるようになっている。
2 【A数と計算】、【B 図形】、【C 解説】、【D 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図ることができるものになったこと。その際、数学的活動を通して指導することによってできる内容になっていること。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して、計算の仕方が解けられるようになっている。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して、計算の仕方が解けられるようになっている。	細かせるべき数学的な観点や社会の現象等について数量や図形に着目して、計算の仕方が解けられるようになっている。
3 ① 〔A数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔A数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔A数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔A数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。
② 〔B 図形〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。 （1）基本的な面積の求め方、（2）図形の相似と合同、（3）複雑な图形の面積の求め方。	〔B 図形〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔B 図形〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔B 図形〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。
③ 〔C 解説】、〔D 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔C 解説】、〔D 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔C 解説】、〔D 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔C 解説】、〔D 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
4 〔E 数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔E 数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔E 数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔E 数と計算〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。
5 〔F 面積と周長〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔F 面積と周長〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔F 面積と周長〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。	〔F 面積と周長〕の解説では、次の3点が強調された内容になっていること。
6 〔G 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔G 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔G 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔G 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
7 〔H 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔H 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔H 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔H 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
8 〔I 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔I 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔I 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔I 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
9 〔J 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔J 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔J 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔J 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
10 〔K 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔K 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔K 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔K 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
11 〔L 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔L 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔L 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔L 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
12 〔M 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔M 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔M 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔M 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。
13 〔N 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔N 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図すこと。	〔N 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。	〔N 伸縮】及び【データ】の組合せによる計算の指導の関連を図うこと。

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を觸かせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になつてゐる。	○	○
1 圆 楠 及 び 程 度	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられてゐる。	○	○
内 容	ア 各教科及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げられている。	○	○
内 容	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	他教科と関連性のある教材を扱つており、教科横断的な指導が行えるようになってゐる。5・6年生に、中学校の学習内容を紹介するページが設けられ、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。	○	○
内 容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	工夫が具体例とともに示され、充実した言語活動が行えるようになっている。	○	○
内 容	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「漸かなる学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決や実践的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学とも学」を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で楽しく学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
配慮事項	工 声 尊 重 し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすること。	「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重して、児童の負担が過重となることができないよう、多様性への配慮がされていること。	○	○
内 容	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となることがないように配慮されていること。	○	○
内 容	カ 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	学習指導要領に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されたりすること。	○	○
内 容	ダ 分量、領域及び内容に偏りがないこと。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
内 容	エ 各分野、領域及び内容に偏りがないこと。	5領域の内容が偏りなく掲載されている。	○	○
内 容	オ 本文、問題、説明文、注、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の際まことに有効に働くように配置されていること。	学習をつなげようで学習のまとめの確認を行える等、問題場面や演算決定の意味理解が図られるようになっている。	○	○
内 容	カ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「もっと練習」という名称を巻末に示し、区別できるようになっている。	○	○
使 用 上 の 示 し 方	メ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	既習を使つて考えることができるように、既習内容がコンテンツに準備されている。单元の導入に、予習・復習に使えるような解説動画が準備されている。	○	○
印 刷 本	リ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	2年生~4年生の教科書が上下巻に分かれていますが、ページの書体が統一化され、文字や図、写真が認識しやすいものになっている。	○	○

□算数の観点 教科書会社名（啓林館）

算数の視点	研究会	研究会
1 認知的が見方・考え方を難かせ、数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や图形に着目して問題を見出し解くこと。その際、数学的活動を通じて指導することによって数学的な内容になっていること。	動かせるべき数学的な見方・考え方があり、解決途中に、吹き出しあなたばマークで示されている。	○ ○
2 「A数と計算」、「B 図形」、「C 比率と閏除」及び「Dデータの活用」の4種類の指導の指導の関係を図ることができる内容になっていること。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、関連問題を図る内容になっている。	○ ○
〔A数と計算〕の構成では、次の3点が重視されていること。 ①整数、小数及び分数の概念を形成し、その生長について理解するとともに、数についての感覚を養うこと。 ②数の表し方に着目し、計算の仕方を既習の内容を考えたり、統合・発展的に考えたりすること。 ③数の関係を算術、算式、図などを用いて新しく、明瞭に、又は、一般的に表現したり、それらの表現と関連付けて意味を捉えたこと。 ④数や式を用いた論理的な処理のよさに気付く、算や算式を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること。	計算順序の順序では、学習内容を段階的に分け、計算の仕方が理解できるようにになっている。 計算順序の順序では、学習内容を段階的に分け、計算の仕方が理解できるようにになっている。	○ ○
〔B 図形〕の構成では、次の3点が重視されていること。 ①基本的な图形や空間の概念について理解し、图形についての感覚の育成を図るとともに、图形を構成したり、图形の面積や面積を構成する要素などについての感覚を育成すること。 ②图形の関係、图形間の関係に着目して、图形の性質、图形の構成の仕方、图形の計量について考察すること。 ③图形の学習を通して、筋道立てた考察の仕方や気付く、筋道立てた考察の仕方や学習に活用しようとする態度を身に付けること。	具体的な操作活動取り入れられており、图形の感覚を育成することができるようになっている。 2年生：長方形正方形では、学習未だよくつかの活動が設定され、巻末にもよくそれを作りたための材料もついており、图形の美しいところがわかるようになっている。	○ ○
〔C 比率と閏除〕の構成では、次の3点が重視されていること。 ①比率の回りの量について、その現象及び内容になつていていること。 ②現象の性質を量について見て、その現象とその原理などを理解するとともに、量についての感覚を養かにし、量を実際に測定すること。 ③現象の回りの現象を用いて現象を理解するとともに、現象についての感覚を育成すること。 ④現象の方法や結果を振り返って経営的な処理のよさに気付く、量とその関連を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること。	実際に測定する活動が取り入れられており、量についての感覚を養かにする指標が取れていながら、学習した内容が日常生活に生かすことで大きな活動が設定されている。ただし、低学年では、簡単な単位がすぐに出でてきており、量の単位が理解しづらいとなっている。	△ ▲
〔Dデータの活用〕の構成では、次の3点が重視されていること。 ①2つの数量の関係について理解し、変化や変化的様子を表す、グラフに表したり並べたりするとともに、二つの数量の関係について並べる二つの数量の関係について理解し、変化や変化の様子を表す、グラフに表したり並べたりするなど。 ②2つの数量の関係に着目して、現象や状況を用いて現象や状況を理解するなど。 ③現象の性質を量について見て、その現象を理解するなど。 ④現象の性質を量について見て、現象の性質を理解するなど。 ⑤現象の方法や結果を量の回りの現象に向けて工夫、改善をするとともに、数理的な處理のよさに気付く、数量の関係の特徴を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること。	集合についてでは、2年生の「かけ算」の学習に「倍」が取り入れられており、3年生に「倍」について学習する単元を設けたりと、系統的な指導が取れるようになっている。 3年生の「倍」の学習では、量を当たして量を乗る活動が取れていながら、学習した内容が日常生活に生かすことで大きな活動が設定されている。ただし、低学年では、簡単な単位と注意単位の比較をする部分が少なく、簡単単位がすぐに出でてきており、量の単位が理解しづらいとなっている。	○ ○
〔Dデータの活用〕の構成では、次の3点が重視されていること。 ①データを集めて分類整理、適切なグラフに表したり、代表値などを求めたりするなどに、統計的な問題解決の方針について理解したりすること。 ②データを用いて現象や傾向を理解し、問題に対する自分なりの結論を出したり、その結論の妥当性について批判的に考案したりすること。 ③統計的な問題解決のよさに気付き、データそのものの分析結果を生活や学習に活用しようとする態度を身に付けること。	5・6年生の単元ごとに、統計的な問題解決の過程を振り返るページが開けており、過程の意味が理解できようになっている。 グラフの読み取り方の正確を理由とともに間に問題を投げ、批判的に考察する力の育成が図られている。 3年生に系統的にたどりながら単元として意識し、複数の情報を複数のグラフにまとめて活動を取り入れている。	○ ○
思考力・判断力・表現力を養成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具体物、図、音楽、算式、表、グラフを用いて表記したり、操作したり、五感で自分の体験をもとに、自分なりに合ったこと、異なることなどを述べることなど。 また、图形についての感覚を養かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を養めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用することができる内容になっていること。	単元の設定箇所に二次元コードを設け、デジタルコンテンツを活用しながら学習活動が行えるようになっている。	○ ○
思考力・判断力・表現力を養成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具体物、図、音楽、算式、表、グラフを用いて表記したり、操作したり、五感で自分の体験をもとに、自分なりに合ったこと、異なることなどを述べることなど。 また、图形についての感覚を養かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を養めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用することができる内容になっていること。	2年生以上に「学びを深めよう」というページを設け、図を用いて考える力の育成を図ることができるようになっている。	○ ○
10 算術や图形についての感覚を育てるために取り入れることができるようになっていること。 11 「用語・記号」が各学年の内容と密接に関連させられており、それらを用いていましたり考えたりしていること。	単元の設定箇所に二次元コードを設け、デジタルコンテンツを活用しながら学習活動が行えるようになっている。	○ ○
12 数量や图形についての豊かな感覚を育てるなどに、およそその大きさや形を捉え、算数学ぶ意欲が実感できること。 13 年生による計算のはじめは確実に身に行なうことを重視するとともに、目的に応じて計算の結果の見積りをして、計算の仕方や結果について過剰に判断できる内容になっている。	3年生上巻に「暗算」の单元を設け、能率的な処理の仕方を考えさせることができるようにになっている。	○ ○

□各教科共通の観点 (算数) 教科書会社名 (日本文教出版)

	所見	研究会 調査研究委員会
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	各教科共通の観点	
1 ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を動かさせ、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○
イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に応じて、具体物、半具体物、絵、図などが効果的に用いられている。	○ ○
ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に連動した学習内容が、不足なく取り上げられている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	各教科及び各学年相互間の関連を取り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	
ア 各教科等による能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	仙教科と関連性のある素材を盛っている。6年生の巻末に「もうすぐ中学生」という中学校の学習内容を紹介するページを設け、中学校との接続が円滑に行えるようになっている。算数で使用する数学的な見方・考え方を一覧にまとめており、児童が問題解決の際に活用することができるようになっている。	○ ○
イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	2年以上の巻頭にノートの書き方があり、ノートの書き方の工夫の仕方が複数の具体例とともに示されており、充実した言語活動が行えるようになっている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習がする児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	
ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	「自分でみんなで」のページを設け、多様性を認め合いながら学習を展開することができるようになつていふ。特に、4年生の複合图形の面積を求める場面では、後の学年の学習で活用できる多様な考え方が出る設定になっている。	○ ○
オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	「ぐうっとチャレンジ」「もうっとチャレンジ」が設定され、児童が自己選択で取り組むことができるようになっている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	児童の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、児童の負担が過重になつたりすることがないように配慮されていること。	
ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いには、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重になつたりすること。	
イ 学習指導要領に示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がされていること。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の柔軟性に応じて有効に動かすことができるようになっている。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されれていること。	○ ○
内 容 の 範 囲 及 び 配 慮 事 項	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○ ○
印 刷	印 刷 ニュニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書としてすべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び型本の構式、材料等が適切であること。	△ △

算数の観点	所見	研究会 『算出次第会』
1 数学的な考え方:考え方を動かせ。数学的活動を通して、日常生活や社会の事象等について数量や图形に着目して問題を見出し解き出すこと。そこでの際、数学的活動を通して指導することができる内容になっていること。	動かせるべき数学的な見方・考え方があり、キャラクターや登場する兒童の吹き出しが示されている。	○ ○ ○
2 [A数と計算]、[B 図形]、[C 調定]、[D データの活用]の計算時間の指導の関連を図ることができる内容になっていること。	面積の学習で比例の関係を扱うなど、傾倒時間の関連を図る内容になっている。	○ ○ ○
[A数と計算]は、次の3点が強調された内容になっていること。 (1)量及び量の関係を理解し、その性質について理解すること。 (2)量について計算の関係を理解すること。 (3)量を比較し、計算の仕事に応用するなど、量と式の関係を理解したりすること。	計算領域の單元では、学習内容を段階的に分け、計算の仕方がどう理解できるようになっている。 絵や図式を用いて問題を示すことで、式の意味が理解できるようになっている。	○ ○ ○
[B 図形]の領域では、次の3点が強調された内容になっていること。 (1)图形と平面の性質について理解し、图形についての感覚を豊かにし、それらの形の特徴の意味について理解すること。 (2)图形の関係について理解し、图形の性質、图形の計画について考案すること。图形の計画に基づいた設計や、数量の関係を身に付けること。 (3)图形の機能的な特徴のいまと图形の美しさに気付く。图形の性質を生活や学習に活用しようとすると態度を身に付けること。	具体的な操作活動が取り入れられており、图形の感覚を育成することができるようになっている。 3年生「円と球」では、「使ってみよう」というページでは、「使ってみよう」というページでは、身の回りにある円の形をしたものを探し活動が取り入れられているなど、学習した内容が日常生活に生かせられるよう問題設定になっている。	○ ○ ○
[C 調定]の領域では、次の3点が強調された内容になっていること。 (1)量の単位について理解し、图形についての感覚を豊かにし、量を実際に測定すること。 (2)量の単位について理解し、量の単位用い、的確に記すこと。 (3)測定の方法や結果を振り返って、数量的な処理の上に向けて工夫・改善を行うこと。	実際に測定する活動が取り入れられており、量についての感覚を豊かにする指導が行えるようになっている。 3年生の量の学習では、歩く時間や歩数の見当をつけて長さを測る活動が取り入れられているなど、学習した内容を日常生活に生かすことができる活動が設定されている。	○ ○ ○
[D データの活用]の領域では、次の3点が強調された内容になっていること。 (1)全体に対する部分の割合について理解し、変形や伸縮などの様子を差し合わせ、グラフに表したり膨らんだりするとともに、統計的な問題解決の方法に関係を比べる場合について割合に対する性質や、平均を理解して、これらを察めたりする。 (2)手てで実験する二つの数量の関係に着目し、二つの数量の関係に着目し、因や式などを用いて、二つの数量の関係に対する数量の比へ方や、日常生活においては、1つ分といいくつ分を意識できるようになっている。 (3)考案の方法や結果を振り返って、より上へ歩くために向けて工夫・改善を行なうこと。	割合については、2年生の「かけ算」の学習に「倍が取り入れられており、系統的な指導が行われるようにになっている。 6年生の運送では、数直線を用いて、数量の關係や式の意味理解が図られるようになっている。 2年生の単元において、「かけ算」といいう小手元が位置付けられている。テーブル間に色を塗ることで、1つ分といいくつ分を意識できるようになっている。	○ ○ ○
[D データの活用]の領域では、次の3点が強調された内容になっていること。 (1)自分でデータを整理してデータを整理したときに、代表値などを求めたりするとともに、統計的な問題解決の方法にアプローチしていくこと。 (2)データの特徴や傾向を把握し、問題に対して自分なりの感想を出し、その特徴の妥当性について批判的に考察したりすること。 (3)統計的分析結果のよきとにデータやその分析結果を生活や学習に活用しようとすると態度を身に付けること。	5・6年生の单元末に、統計的な問題解決の過程を取り返るページが載せており、過程の意味が理解できるようになっている。 グラフの読み取り方の正確さを理由でまた同じ問題を複数枚提出されたり、統計的分析を学ぶ力の育成が図れるようになっている。	○ ○ ○
思考力・判断力を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具體的、図形、文言、數式、グラフ等で示されている「こと」を理解したり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなど、「幅広い知識」を身に付けていくこと。	5・6年生の上巻に「算数で使いたいことは・考え方」というページを設け、自分の考えを適切に表現する力の育成を図る。 6年生に「WEBマーク」というページを設け、データやコンピューターを活用しながら学習活動が行えるようになっている。	○ ○ ○
思考力・判断力を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、具體的、図形、文言、數式、グラフ等で示されている「こと」を理解したり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなど、「幅広い知識」を身に付けていくこと。	6年生の上巻に「 WEBマーク」というページを設け、データやコンピューターを活用しながら学習活動が行えるようになっている。	○ ○ ○
10 球体や圓形についての感覚を養成したり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなど、必要な場面においてコンピューターを適切に活用することができる内容になっていること。	2年生以上の上巻に「算数で使いたいことは・考え方」というページを設け、自分の考えを適切に表現する力の育成を図る。 6年生に「 WEBマーク」というページを設け、データやコンピューターを活用しながら学習活動が行えるようになっている。	○ ○ ○
11 「用語・記号」が各学年の内容と密接に関連せられており、それらを用いて表したり考えたりするなどのよきが分かる内容になっていること。	2年生以上の巻末にある「〇年までに学習したこと」で、用語や記号が学習した年までにまとめられている。	○ ○ ○
12 數量や图形についての豊かな感覚を育てるなどともに、およそ大きな大きさや形を捉え、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な処理の仕方を考えさせることができるようになっている。	3年生上巻の「たし算と引き算」の单元の中に時事のページを取り、複数の解答の仕方を示すなど、能率的な処理の仕方を考えさせることができるようになっている。	○ ○ ○
13 算算による計算の技能と確実に身に付けることを實現するなどに、目的に応じて計算の結果を見極めたり、キャラクターの吹き出しの中に見極もりを示唆する言葉を示したりと、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっている。	4年生の「わか算の算筆」では、算筆の仕方を位ごとに段階的に示したり、キャラクターの吹き出しの中に見極もりを示唆する言葉を示したりと、計算の仕方や結果について適切に判断できる内容になっている。	○ ○ ○



理科

小学校

調査研究報告書（答申）

令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究の視点と主な審議内容（理科）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

観点	主な審議内容
ウ	◎【東京書籍】◎【大日本図書】→研究会の評価どおり　ただし審議を受け所見の記述を変更 東京書籍が◎であるが、1人1台端末の活用についての記述が無い。その点に関しては、活用しやすいのであれば表記した方がよい。

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（東京書籍）

		研究所 見 調査研究委員会
		各教科共通の観点
1 因 素 及 び 程 度	内 容 の 要 領 及 び 感 慢	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。
2 配 感 慢	内 容 の 要 領 及 び 感 慢	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。
3 分 量	内 容 の 要 領 及 び 感 慢	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「誰かがなぜ学力の向上に貢献するか」「グローバル社会を生きるためのアピール」「多様な体験的な学習や基礎的・基本的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視され、児童の興味・関心を生かし、主体的に学ぶことができる」「基礎知識と技術を身につける」「児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。
4 便 宜	内 容 の 要 領 及 び 感 慢	ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、「1人」人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。
5 印 刷	内 容 の 要 領 及 び 感 慢	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となつたりすることがないよう配慮されていること。

□理科の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

理科の視点

所見	研究会 調査研究委員会
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	児童が自然に親しみ、理科の見方・考え方を働きかせる表現はあるが、児童の思考に沿った学習場面が設定にならない部分がある。そのため、予想がしにくかったり、予想がなかったりする学習場面がみられる。
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	二次元コードや方針で実験方法を詳しく説明している。 卷末に器具の使い方が詳しい点が示されている。 観察カードは手書き調のイラストが記載されており、記述内容も児童に気付かせたい内容で書いている。
3 観察、実験などをい、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	写真が、大きめ鮮明で見やすく、興味を引く内容や考えさせる構図になっている。 自然に関する写真も多く使っている。
4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことになっていること。	学習過程の中に必ず観察・実験をするように記述しており、問題解決の力を養うことができる内容になっている。
(A物質・エネルギー)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働きかせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解釈の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについてより妥当な考えをつくる力(第6学年)を養う。 (3)主体的に問題解決しようとする態度を養う。	写真が、大きめ鮮明で見やすく、興味を引く内容や考えさせる構図になっている。 自然に関する写真も多く使っている。
(B地球・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働きかせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生物」、「死」、「死因」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年) 主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解釈の方法を発想する力(第5学年)、主に仕組みや性質、規則性及び働きについてより妥当な考えをつくる力(第6学年)を養う。 (3)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	写真が、大きめ鮮明で見やすく、興味を引く内容や考えさせる構図になっている。 自然に関する写真も多く使っている。
7 第3学年では、生体科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通じて、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方を働きかせ、問題を想起させ、問題を見つけることにつなげていること。	「たねまき」「太陽とかげ」「ひしゃくのせいし」では、生活科で育てたアサガオ等学んできたことを想起させ、問題を見つけることにつなげている。
8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができますが、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる。 9 生きるといった体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていること。	インターネットの関連ページの二次元コードが示してあるとともに、調べ学習でインターネットの使い方(が全学年記載されている)。 また、卷末に「コンピューターの使い方」が全学年記載され、簡単に記述にどどまっている。
10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協同開発による環境の保全に寄与する態度を養うことができるようになっている。 さらに、人や環境と調和わりながら学習できる内容になっていること。	各学年に、巻末の「しせつを活用しよう」のページで脚踏を活用する内容が紹介されている。 実験・観察時に「きかんマーク」が明示しており、事象の防止に留意した内容になっている。

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (大日本図書)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	顧客・実験の基本的な技能や問題解決の力を養う分には申し分なく、目標達成に結びつ内容になっている。	○	○
1 困 難	イ 内容は、その学年の児童の発達段階に適していること。	写真やイラストも分かりやすく、内容も発達段階に即している。	○	○
及 び	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○	○
程 度				
内 容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を取り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「〇年生になつたら」「チャレンジ問題」「理科のたまてばこ」など、発展的な内容や問題が充実している。	○	○
2 す る	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「理科の学びに役立てよう」のページでは、「話し合いや発表のしかた」についての二次元コードが示されており、言語活動を重視した児童同士の対話や聞いが示されている。	○	○
配 慮	ア 「第2次福岡市教科書基準基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクター」の育成、多様な体験的な学習や基礎的な学習及び技術を活用した問題解決的な学習が教育目標とともに、「富山スタンダード」に位置する目標を実現できるよう取り組んでいくこと。	問題解決の過程が明示されており、子どもの主体的で問題解決的な活動が示されている。予想や計画、考察で対話的な場面が設定されている。	◎	◎
事 項	エ 「第2次福岡市教科書基準基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされている。	イラストや写真で、肌の色や髪の色が違う様々な児童が登場しており、多様性に配慮している。予想は必ず2人以上で対話しており、多様性への配慮がされている。	○	○
3 量	オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	活動が安全にできるように必ず赤文字で「注意」の記述がある。「使い方を覚えよう」のページで、実験器具の正しい使い方について配載されている。	○	○
使 用	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を越えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となつたことがあるように配慮されていること。	単元の最後に「サイエンスワールド」のページがあり、中学校の内容を中心に発展的な内容が示されている。	○	○
便 宜	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切である。	○	○
印 刷	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
本	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがないと評価がされていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。	○	○
	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、插絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	問題・予想・計画のページと結果・考察・結論のページを分けて記載しているため、学習の深まりに効果的に働いている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元末に「確かめよう」「学んだことをかぞう」「振り返ろう」「サイエンスワールド」がセットで配置され、本文とは別に示されている。	○	○
	ア 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	全ての単元で三次元コードがページの下部に記載されおり、1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。	○	○
	印 刷	読みやすくて簡潔に編集されている。図が読み取りやすい。	○	○
本	5 . ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び図本の構成、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインが使用されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（大日本図書）

所見	研究会
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を特定や予想、考察場面等に「ここに注目があり、理科の見方・考え方を働かせ問題解決ができる内容になっていること。	問題解決の過程が明確に記してあり、児童の思考に沿った科学的な導線が示されている。問題解決が定められており、児童が身に付けることができる内容になっている。
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	気温や水温のはかり方、実際に行う実験は写真付きで觀察実験の方法が記載してあるので、児童も觀察・実験の基本的な技能を身に付けてよい。
3 観察、実験などをを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	導入部分に生活場面での写真を載せ、そこから問題を見出すような単元構成になっている。そこから問題解決を行っていくように、問題解決をスムーズに行なっている。
4 自然を愛する心や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	自然に関する写真も多く使っている。特に色彩により問題解決の流れが明確で分かりやすくなっているため、主体的に問題解決に臨みやすい。
5 (A)物質・エネルギー]については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することによって、理科学的基本な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技術能を身に付けることとする。 ①「エネルギー」「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技術能を身に付けることとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発揮する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考え方をつくりたり方(第6学年)を養う。 ③主体的に問題解決しようとする態度を養う。	(A)物質・能力を育成することによって、理科学的基本な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技術能を身に付けることとする。 ①「エネルギー」「粒子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技術能を身に付けることとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発揮する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考え方をつくりたり方(第6学年)を養う。 ③主体的に問題解決しようとする態度を養う。
6 地球・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することによって、理科学的基本な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることとする。 ①「生命」「地図」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、解法の方法を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、問題解決しようとする態度(第5、6学年)、生物を尊重する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	(B)地球・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することによって、理科学的基本な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることとする。 ①「生命」「地図」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、觀察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、解法の方法を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、問題解決しようとする態度(第5、6学年)、生物を尊重する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。
7 第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通じて、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「ゴムや風の力」では「生活科とのつながり」コーナーで生活科の学習を想起させ、児童自ら問題を見出したり、予想したりすることができるよう工夫されている。
8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用することができる内容になっていること。また、意図した処理をどのように手順があることに気付くことができる内容になっていること。	タブレットでの調べやプログラミング学習の体験的・実践的学習の実際に関する記述がある。6年プログラミングが例示されていて、わかりやすい。
9 生物・天気・川・土地などの複数に、地域の自然に親しみ活動や体験的な活動を多く取り入れることができるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことになっていること。さらに、人や環境と関わることで、災害で生き残ること。	各地の災害や科学館などの地場教材をふんだんに使っている。 災害や防災についても様々な視点で記述があり、自分たちの写真が使っている。 地域の自然の写真が使っている。
10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をふまえて、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	科学館などの記述が多く、調べ・学習や発展的な学習との連携が図られている。また、巻末に理科教室の使い方や道具の使い方がまとめられており、事故の防止に十分留意した内容になっている。

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (学校図書)

各教科共通の観点		所見	研究会 調査研究委員会
内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	見通しをもつた問題解決の流れが示されているが、予想よりも考察に力を入れている面が見られる。	○ ○
1. 固定及び複数の内容及び内容の取扱い	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年相応の難易度で、分かりやすく説明がなされている。	○ ○
2. 配慮	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○ ○
3. 分量	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的・発達的な指導ができるように配慮されていること。	学年間の系統のある単元の二次元コードがあり、「学図プラス」のサイトで必要な既習内容を復習する記述がある。発展的な指導ができるよう「やつてみよう」コーナーがある。	○ ○ ○
4. 使い方	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	伝える、記録するなどのポイントをまとめたページが巻末に特設されており、言語活動の充実について配慮されている。	○ ○ ○
5. 印刷	ア 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「誰がなぜ学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタイル」「データード」に位置づけている「自学・どう学」を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で柔軟・相手の考え方を広げたりすることができるよう配慮されていること。	「問題を見つけよう」や「予想」の部分で、話し合い場面が確保されているが、方向性を示し過ぎていない、児童が主観的に話し合いを進めづらいところがある。	○ ○
6. デジタル機器の活用	イ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を持つことから、相手の考えを理解したり自分の方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	「問題を見つけよう」や「予想」の部分で、複数の人が吹き出しで発言している記載があるが方向性がしげめ過ぎていて、多様な考え方を認める記述に乏しい。	○ ○
7. 素材	オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	各実験における注意が、明確に示してある。巻末に、実験器具の正しい使い方について記載されている。だらの実験が、直接出すような方法で衛生的でない。	○ ○
8. 価値観	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりするこがないように配慮されていること。	やつてみようの記述はあるが、気孔の観察など、中学校内容に関する記述も多く、やや過重になっている。	○ ○
9. 価格	メ 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切である。	○ ○ ○
10. 仕組み	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○ ○ ○
11. 付録	ア 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。	○ ○ ○
12. 付録	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○ ○ ○	
13. 付録	エ 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに効果的に配慮されていること。	学習の流れが、作業的で形式的になっている。写真的提示が作業的な内容に使われている。	○ ○
14. 付録	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「やつてみよう」で振り分けられた内容は、実験の終末の一部と区別されているが、内容が難しいものが多い。活用例が少ない单元もある。	△ △
15. 付録	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	「学図プラス」というオリジナルのデジタルコンテンツがあり、適切に配置されている。ICTマークがあり、ICT機器を活用しやすい。	○ ○
16. 付録	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	紙面に光沢があり、写真なども繊細で見やすい。順序性が分かりにくい部分がある。また、文字が小さく、情報が多くある。	○ ○

□理科の観点 教科書会社名（学校図書）

理科の観点	所見	研究会 調査研究委員会	
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察、実験を行うなどをして、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決できる内容になっていること。	問題を科学的に解決できるような構成にかかっている。見方・考え方を理科センスターとして登場させ、意識できるが、単元によって使われない見方・考え方もあり、不十分であると考える。	○ ○	
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になつていてこと。	巻末に実験器具の使い方や使用上の注意などが器具ごとに示されており、観察・実験の基本的な技能を身に付けるのに適している。	○ ○	
3 観察、実験などをい、問題解決の力を養うことができる内容になつていてこと。	問題解決の過程に沿って実験の内容が示されているが、見開きのページに実験結果まで写真や言葉で示されており、児童の解法の意欲が喚起すると推測される。	△ △	
4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になつていてこと。	「問題をみつけよう」のコーナーがあり、児童の考え方から問題を見つけることができるよう工夫されているが、同ページに期待する発言が記述されているので、子どもたち自身の考えを適切に問題にすることが難しい。	△ △	
5 (A物質・エネルギー)については、自然の事物・現象にかかること。 (B)「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようににする。 (C)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に由縁や関係に基づく力(第6学年)を養う。 (D)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	〔A物質・エネルギー〕については、自然の事物・現象にかかることができる内容になっていること。 〔B〕の「エネルギー」、「粒子」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を図り、観察、実験などに關する基本的な技能を身に付けるようにする。 〔C〕主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に由縁や関係に基づく力(第6学年)を養う。 〔D〕生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	正確な結果が出づらい教材があり、科学の基本的な概念を柱とする内容理解に適していない実験がある。 理科センスターなどを登場させ、見方や考え方を十分に意識させるよう工夫されている。 問題解決の指導内容が巻末に分かれやすく記されている。	○ ○
6 (A)地球・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働きかせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」、「地図」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を図り、観察、実験などに關する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に由縁や関係に基づく力(第6学年)を養う。 (3)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	〔B〕地球・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働きかせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質能力を育成することができる内容になっていること。 〔1〕「生命」、「地図」といった科学の基本的な概念等を中心とした内容についての理解を図り、観察、実験などに關する基本的な技能を身に付けるようにする。 〔2〕主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解法の方法を発想する力(第5学年)、主に由縁や関係に基づく力(第6学年)を養う。 〔3〕生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	見方・考え方を働きかせて問題を解決できるよう、紹介してある教材教員が工夫されている。 理科センスターなどを登場させ、見方や考え方を十分に意識させるよう工夫されている。 問題解決の指導内容が巻末に分かれやすく記されている。	○ ○
7 第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方・考え方」を働きかせ、問題を追究していくこと。	「問題をみつけよう」の場面では、具体的な活動が紹介されていることが多く、活動を通じた体験の中から問題を見出すことができるよう工夫されている。	○ ○	
8 〔コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になつていてこと。また、意図した処理を行うよう指示することができる内容になつていてこと。	「問題をみつけよう」の場面では、具体的な活動が紹介されていることが多く、活動を通じた体験の中から問題を見出すことができるよう工夫されている。	○ ○	
9 地域などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることで、また、意図した処理があることに気付くことができる内容になつていてこと。	二次元コードが記載され、児童が自ら情報通信ネットワークを適切に活用できるよう工夫されている。 身の回りで電気を活用よく使うための工夫が取り上げられている。	○ ○	
10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「教育の触点をふまえ、博物館や科学館が学年ごとに紹介されている。地図の学習において施設の利用を促す記述がある。	地図学における実地観察での注意点や要素のがいくが詳しくまとめられている。 火山に関する記述において、ハザードマップや標識などを具体的に示し、考える構成になっている。	○ ○	

□各教科共通の観点（理科）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	研究会 調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	予想とその理由を考え、自分の予想を確かめる方法を考える單元構成によっており、目標達成に結びやすいと考える。	○ ○ ○
1 回 及 び	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	学年の発達段階に適した説明が使われている。	○ ○ ○
内 容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	「人の生活と自然環境」が章として取り上げられていないが、過不足なく示されている。	○ ○ ○
内 容	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	前の学年の振り返りが巻頭にまとめてあり、振り返りやすい。	○ ○ ○
内 容	内 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャラクタ教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自學・どう学ぶ」を効果的に行なうことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されれていること。	卷頭に国語科との関連を意識した話型の指導のページがあり、言語活動の充実について十分配慮されている。	◎ ○ ○
内 容	内 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	対話的な記述や対話を引き出す問い合わせが示されている。	○ ○ ○
事 項	エ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	結論のあと、学びを広げようの項目があり、学習したことと日常生活に当てはめ、深い学びにつながるよう工夫されている。	○ ○ ○
事 項	オ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	予想場面など、一つの考えだけでなく2人以上の意見を例示することで、多様性を認める記述になっている。	○ ○ ○
事 項	カ 学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となることがないように配慮されていること。	各実験で注意すべき内容は、赤字ではっきりと明記している。また液の実験が、直接出すような方法で衛生的でない。	○ ○ ○
事 項	ダ 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	豊富な内容は、指導内容の生活への応用や他の物質での例示がされており、適している。	○ ○ ○
事 項	エ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○ ○ ○
事 項	オ 各分野、領域及び内容に偏りがなく開拓がされていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。	○ ○ ○
事 項	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに効くように配置されていること。	問題解決の流れを重視しており、思考の流れに沿って関連した写真と資料が適度に配列されている。	○ ○ ○
使 用 上 の 示 さ れ て い る こ と	イ 発展的な学習内容を取扱う場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明確に示されていること。	「はってん」として発展的な内容が明確に示されている。	○ ○ ○
使 用 上 の 示 さ れ て い る こ と	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「まなびリンク」というオリジナルのデジタルコンテンツがある。ウェブ図鑑の内容は充実しているが、その他の内容は乏しい。	○ ○ ○
印 刷 印刷	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	行間など整理されており、見やすい。図や文字が全体的に大きく、配列も読みやすい。	○ ○ ○
印 刷 印刷	印 刷	印 刷	印 刷

□理科の観点 教科書会社名（教育出版）

所見	調査研究委員会
理科の観点	研究会
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働き、見通しをもつて観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象について、問題を科学的に解決できる内容になっていること。	単元初めからの写真が身の回りの生活からスタートできるよう工夫されており、問題から入るのではないか、疑問を提起するところは適切ではないと考える。
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	卷末に基本的な器具の使い方の手順が詳細に示されており、観察・実験の基本的な技能を身に付けるのに適している。
3 観察、実験などをを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	実験方法は詳細に示されているが、実験方法が明確に決まらせており、児童の予想や考えが実験に反映されづらいと心配もある。
4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	教科書のキャラクターが予想と結論の内容をほほ詰てしまっているため、児童の実践意欲を阻害する要因がある。
(A物質・エネルギー)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働き、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる。また、(1)～(3)の資質・能力を育成するためには、(1)～(3)の内に記載する内容等を主とした内容についての理解を図り、観察・実験などに関する基礎的な技能を身に付けるようにする。	実験に紹介してある教材が、児童にとって扱いづらいものがあり、科学の基本的な概念などを柱とした内容についての理解を図りづらいところがある。子どもの吹き出しで用いる思考すべき内容が記述されており、主体的な考えを作り出す力の育成を図るのに適していない面がある。
(2) 主に既習の内容や生活経験を基に、問題のある予想や根拠及び仮説を発想する力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、問題のある予想や根拠及び仮説を発想する力(第5学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、問題のある予想や根拠及び仮説を発想する力(第6学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、問題のある予想や根拠及び仮説を発想する力(第8学年)を養う。	
(3) 主体的に問題解決しらどする態度を養う。	
(B地図・生命)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働き、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる。また、(1)～(3)の資質・能力を育成するためには、(1)～(3)の内に記載する内容等を主とした内容についての理解を図り、観察・実験などに関する基礎的な技能を身に付けるようにする。	SDGsとのかかわりを大切にし、目次に開題のページを記載している。子どもの吹き出しで用いる思考すべき内容が記述されており、主体的な考えを作り出す力の育成を図るのに適していない面がある。
(2) 主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力(第5学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、問題を見いだす力(第6学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、問題を見いだす力(第8学年)を養う。	
(3) 生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
7 第3学年では、生活科の学習と問題が関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働きかせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	「ありがとう生活科、よろしく理科」のページがあり、理科と生活科のつながりと違いが分かりやすく取り組みやすいことを次の学習でつなげて問題追究する記述がある。
8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、問題解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	タブレットやパソコンを使った学習の例示や写真がある。動画を活用するページやWEB図鑑が目次で示されており、見直が活用できるようになっていく。
9 生物、天気、川、土地などの指導に、地盤の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることによって、問題の解決には必要な手順があることについて多くの取り上げ、学習内容と結び付けられるように单元の配列を工夫している。	災害について多く取り上げ、学習内容と結び付けられるように单元の配列を工夫している。
10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点をもと、博物館や科学館等の指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	卷末に「科学館や博物館の利用」のページがあり、学年の学習内容にあった科学館が紹介されている。実験の際の注意事項に関する記述が、手順ごとに記載されている。

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (信州教育出版)

所見	研究会 調査研究委員会
内 ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	問題の見出しや予想、実験の立案の場面など、問題解決の過程の記述が一部乏しい面が見られる。
1 内 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。
内 及び ブ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。
内 ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「思い出そりで、各学年相互間の関連を図っているが、ない単元もある。他教科と系統をつなげられない。」
イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	ハートの記述例や語合いの児童の発言の例示が示されているが、詳細に記載されていないため、児童が考える余地が少なくなっている。
内 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示された「誰かな学力の向上」及び「グローバル社会を生き抜く力」に習うべき本体的な学習や基礎的な学習などを活用した問題解決的な学習に習む重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけた「基礎知識」とも学力を効果的に行なうことができるよう配慮されていること。	問題の見出しや予想、実験の立案など、問題解決の過程の一部の記述が乏しいため、主張的・対話的で深い学びが促されないよう配慮されている。
2 配工 「第2次福岡市教育人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの男なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	問題の見出しの場面では、必ず2人以上の多様な考えが示されており、多様性が保障されている。
事項 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面で配慮されていること。	安全面の注意が、赤文字、マーク付きで細んで示しており、安全面に関する注意を想起している。
3 分量 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	発展的な内容は写真を中心に示されており、過重にならないよう視覚的に示されている。
4 使用宣上 の イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切である。
内 ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、使用の際には効率よく配慮されていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。
内 ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	図や写真が見にいものが多いため、何を伝える資料なのが分かりにくい。
内 エ ニューパーソナルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	すべての単元に、二段元コードが記載しており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。
内 オ 本	図や写真が鮮明ではない。紙質がしつかりしており、丈夫である。字体・大きさ・フォントの種類が多く、見づらいページがある。

□理科の観点 教科書会社名（信州教育出版）

理科の観点	所見	研究会 調査研究委員会
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもつて観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象についての問題を解決する内容になっていること。	学年の初めに「理科の学習のすすめかた」で、問題解決の過程を示しており、児童が問題を解決しながら学習を進めていく内容になっている。	○ ○
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	基本的な実験の方法など、詳細に示されており、観察・実験の基本的な技能を身に付けるのに適しているが、イラストや図が全体的に暗く、見にくいい。	○ ○
3 観察、実験などを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	問題提示の後にすぐに実験場面の記載があり、児童が見通しをもって觀察、実験に取り組みにくく、児童が問題解決の過程にそつて学習しづらい。	△ △
4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	問題解決の過程に沿って追究している単元もあるが、单元によっては主体的に問題を解決する場面が少ないものも見られる。	○ ○
(人物質・エネルギー)については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の養成・能力を育成することができる内容になっていること。 ①「エネルギー」「原子」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容に対する理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発現する力(第5学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第6学年)を養う。 ③主体的に問題解決しようとする態度を養う。	既習内容や次の学習へのつながりを意識した記述がみられ、系統的な学びができるように工夫されている。より妥当な考え方を練り上げる過程が、「考えてみよう」などの記述で終わっている。	○ ○
[日本地図・生命]については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の養成・能力を育成することができる内容になっていること。 ①「生命」「地球」といった科学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようとする。 ②主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発現する力(第4学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第5学年)、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力(第6学年)を養う。 ③生物を愛護する態度(第3、4学年)や命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	「身近な自然のかんさつ」が「太陽とかげをしゃべよう」の後ろにあるなど、福岡市の気候では時期が悪く、実際に飼育散歩をすることは、やや難しい。	△ △
第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくといふ理科の学習の仕方に付けることができる内容になっていること。	「学習や経験を思い出そう」マークが示されているが、生活科と明記されていないため、生活科の体験した内容を想起しづらい。	○ ○
コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することができる内容になっていること。また、意図した処理を行うよう指示することができるといった体験を通して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことができる内容になっていること。	コンピュータを活用した記述がみられるが、少ない。プログラミングでMESHではなく、「命令を実行するコンピューターが組みこまれた装置(ボード)」を使用しているため、福岡市では見えない。	△ △
生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うこと。さらに、人や環境と関わながら学習できる内容になっていること。	自然の中での体験的な活動の記述がみられ、災害についてでも火山や地震などで多く記述がある。しかし、イラストや写真が分かりづらい。福岡市には、身近ではない地域の内容が多い。(長野県など)	○ ○
指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育!の觀点をふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図ることができ内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	科学館などの資料や写真が少なく、連携を図る内容に乏しい。	○ ○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (啓林館)

	各教科共通の観点	所見	研究会	調査研究委員会
内 容	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	すべての単元で、問題をこれまでの生活経験や学習経験から見出し、科学的に探究する内容になっている。	○ ○	○ ○
1 回及び程度	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。	○ ○	○ ○
ア 各教科等及び各学年相互通じる能力の育成を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されていること。	内容不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○	○ ○
イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	全学年卷末に「オッターの資料室」があり、算数科や国語科との相互関連を図つて、「思い出してみよう」が单元のはじめに示されており、前单元とのつながりが意識されている。卷末について配慮されている。	○ ○	○ ○	○ ○
内 容	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤ」に「多様な体験的な学習や基礎的基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行なうことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で楽しく能動的で学ぶことができるよう配慮されていること。	主張的に考えたための問題のすぐ下に答えるなどの書き出しがあるため、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。言い難い。	△	△
2 配慮事項	エ 「第2次福岡市教育振興基本計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考え方を理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	様々な立場の考え方を並列に示しており、他の価値観を尊重することができる。挿絵のキャラクターに髪や肌の色が様々な子どもが多く登場する。	○ ○	○ ○
オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全面の注意が、赤文字で書いてあったり、マークで示してあつたりして安全面に関する注意を喚起している。	○ ○	○ ○	○ ○
ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切である。	○ ○	○ ○	○ ○
3 分量	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○ ○	○ ○
ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	分野に偏りなく、調和のとれた構成である。	○ ○	○ ○	○ ○
ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、本文の構成がどの単元も統一されており、学習しやすい。	本文の構成がどの単元も統一されており、学習しやすい。	○ ○	○ ○	○ ○
イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されしていること。	学習の後に、「活用しよう」「理科の広場」のコーナーがあり、生活への発展や応用が例示されている。	○ ○	○ ○	○ ○
使 用 上の便 宜 性	イ 本教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び図本の様式、材料等が適切であること。	単元ごとに適宜二次元コードが記載されており、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されている。	○ ○	○ ○
印 刷 質	ロ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び図本の様式、材料等が適切であること。	字体や写真が鮮明で見やすい。ユニバーサルデザインが使用されている。	○ ○	○ ○

88

□ 理科の観点 教科書会社名（啓林館）

所見	研究会 調査研究委員会
1 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行ことなどを通して、自然の事物・現象についての問題解決法の思考の流れが明確に示されており、生活やこれまでの学習を通して学んだ見方が生かされ思考し、科学的な解決法が保障されている。	○ ○
2 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	◎ ◎
3 観察、実験などをを行い、問題解決の力を養うことができる内容になっていること。	○ ○
4 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	△ △
5 「(物質・エネルギー)」についてでは、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の質質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「エネルギー」「粒子」といった科学的基本な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説をつくり、より妥当な考え方をつくりだす力(第6学年)を養う。 (3)主体的に問題解決しようとする態度を養う。	○ ○
6 「[地球・生命]」については、自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、以下の(1)～(3)の質質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1)「生命」「地図」といった生物学の基本的な概念等を柱とした内容についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力(第3学年)、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説をつくり、より妥当な考え方をつくりだす力(第6学年)を養う。 (3)生物を愛護する態度(第3、4学年)や生命を尊重する態度(第5、6学年)、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	○ ○
7 第3学年では、生活科の学習との関連が考慮された体験的な活動を通して、問題解決の過程の中で、「理科の見方考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができる内容になっていること。	○ ○
8 コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用して、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決を行うよう指示とに気付くことができる内容になっていること。	○ ○
9 生物、天気、川、土地などの指導に、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れることなど、問題には必要な自信があることとする基礎的な理解を図ることができる内容になっていること。さらに、人や環境と関わらなければ学習できる内容になっていること。	○ ○
10 指導内容に応じて、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の觀点をふまえ、博物館や科学学習センターなどと連携、協力でできる内容になっていること。また、観察、実験などの指導に当たっては、事故の防止に十分留意した内容になっていること。	○ ○

